

この履修要項は、諸君が学業を進めていくうえで必要不可欠な、学部の基本的な事項を収録したものであり、卒業時まで使用する。

なくさないように十分に注意するとともに、わからないことがある場合にはこの要項をよく読むこと

2003

南山大学

# 目 次

南山大学授業科目履修規程	4
南山大学試験規程	12
共通教育科目履修要項	19

## 人 文 学 部

人文学部履修要項	35
キリスト教学科履修要項・カリキュラム表	37
人類文化学科履修要項・カリキュラム表	45
心理人間学科履修要項・カリキュラム表	53
日本文化学科履修要項・カリキュラム表	61

## 外 国 語 学 部

外国語学部履修要項 〔2000年度以降に入学した学生に適用〕	71
外国語学部学科別カリキュラム表	94

## 経 済 学 部

経済学部履修要項・経済学部経済学科カリキュラム表 〔2000年度以降に入学した学生に適用〕	111
--	-----

## 経 営 学 部

経営学部経営学科履修要項・カリキュラム表 〔2000年度以降に入学した学生に適用〕	125
--	-----

## 法 学 部

法学部履修要項・法学部法律学科カリキュラム表 〔2000年度以降に入学した学生に適用〕	141
--	-----

そ の 他

「会計士講座」と公認会計士・税理士試験 ……………151  
 公務員試験について ……………154  
 「法職特別課外講座」について ……………155  
 「公務員経済学講座」について ……………157

履修に関する取扱要領他

卒業論文等提出についての注意事項 ……………159  
 派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領…163  
 外国人留学生の授業科目履修に関する特例 ……………164  
 外国語検定試験による単位認定制度について ……………166  
 愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について…168

# 南山大学授業科目履修規程

## 第1章 総 則

### (この規程の趣旨)

**第1条** 「南山大学学則」第14条によりこの規程を制定する。  
授業科目履修に関する事項は、この規程の定めるところによる。

## 第2章 授 業 科 目

### (授業科目の区分)

**第2条** 授業科目は、共通教育科目、学部共通科目および学科科目とし、ほかに外国人留学生のための日本語科目を開設する。

### (共通教育科目)

**第3条** 共通教育科目は、宗教科目、体育科目、「人間の尊厳」科目、テーマ科目、分野科目、情報科目（アカデミックリテラシー科目）および外国語科目とする。

② 前項の各科目は各学部・学科の定めるところにより必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

### (学部共通科目・学科科目)

**第4条** 学部共通科目・学科科目は、各学部・学科の定めるところにより、必修科目、選択必修科目、選択科目、任意選択科目および自由科目に分ける。

## 第3章 履修単位および履修方法

### (卒業の要件)

**第5条** 本大学を卒業するためには、本大学に4年以上在学し、次の各号に定める授業科目の単位を修得しなければならない。

- 1 宗教科目 4 単位
- 2 体育科目 2 単位

- 3 「人間の尊厳」科目4単位
  - 4 テーマ科目10単位
  - 5 分野科目、情報科目および外国語科目の単位については各学部・学科の定めるところによる。
  - 6 学科科目および学部共通科目の単位については各学部・学科の定めるところによる。
- ② 外国人留学生の共通教育科目の履修に関しては別に定める。

#### (単位数計算の基礎)

**第6条** 各授業科目の単位数計算の基礎は次のとおりである。

- 1 講義による科目および演習は、毎週1時間15週をもって1単位とする。
- 2 外国語科目、体育科目は、毎週2時間15週をもって1単位とする。
- 3 実習、実験、音楽実技および美術実技は、毎週3時間15週をもって1単位とする。ただし、一時間の授業に対して教室外における2時間の準備のための学修を必要とする場合は、毎週1時間15週をもって1単位とする。

#### (自由科目の修得単位)

**第7条** 第3条第2項および第4条に定める自由科目の修得単位は、第5条第1項の卒業に必要な単位数のうちに算入しない。

#### (授業科目の履修年次)

**第8条** 共通教育科目の履修年次は、共通教育科目履修要項に従い、また学部共通科目および学科科目については各学部・学科の定める年次にそれぞれ履修しなければならない。

**第9条** (削除)

#### (教職、博物館、司書および司書教諭に関する科目)

**第10条** 教育職員免許状取得資格、博物館学芸員の資格、司書の資格および司書教諭の資格を得ようとするものは、当該授業科目履修要項に従って授業科目を履修しなければならない。

## 第4章 履 修 登 録

#### (履修登録の手続)

**第11条** 単位を修得するためには、各学部・学科の定めるところに従い次の各号の登録手続を行わなければならない。

- 1 「履修登録カード」の必要事項をマークして提出すること。
- 2 前号に定める履修登録カードに基づいて作成された「授業科目登録表」を受け取ること。
- 3 前号に定める授業科目登録表を確認した上で「登録確認書」を提出すること。

② 派遣留学生の履修登録は、「派遣留学生の帰国後における授業科目履修に関する手続等取扱要領」によるものとする。

#### (履修登録の無効)

**第12条** 同一時限に授業が行われる複数の授業科目を重複して登録してはならない。重複登録を行った場合には、いずれの授業科目の登録も無効とする。

#### (履修登録単位数の上限)

**第13条** 1年間に登録できる単位数の上限は、各学部・学科の定めるところによる。

#### (履修登録の期間)

**第14条** 履修登録は、本大学の定める期間中に行わなければならない。ただし、病気、休学などやむを得ない理由により所定期間中に履修登録が不可能な場合は、直ちにその旨を名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は学務係に届け出て指示を受けなければならない。学務部教務課または学務係に届け出ることなく履修登録を行わなかった場合は、特別の理由のない限り、その年度の履修登録を認めない。

#### (履修登録変更)

**第15条** 履修登録後は、所定の期間に限り、履修登録の変更を認める。それ以外の期間については特別の理由のない限り履修登録の変更は認めない。

## 第5章 出 欠 席

#### (欠席時数の限度)

**第16条** 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えるときの、当該授業科目の成績評価について共通教育科目は共通教育委員会、学部共通科目および学科科目は各学

部・学科の定めるところによる。

- ② 15分以上の遅刻または早退は、欠席とみなす。また、15分以内の遅刻または早退は、3回をもって1回の欠席とみなす。

## 第6章 履修成績および単位の授与

### (単位の授与)

**第17条** 授業科目を履修した者に対しては、原則として、試験の上成績を判定し単位を与える。

### (履修成績の判定)

**第18条** 履修成績は、「南山大学試験規程」により実施される定期試験または追試験・再試験の成績と平常の成績を考慮して定める。

### (履修成績評価の基準)

**第19条** 履修成績の評価は次のように表す。合格の成績にはそれぞれの授業科目に関し所定の単位を与えるが、不合格の成績には単位を与えない。

優	}	A+ (100点～90点)	}	合格
		A (89点～80点)		
良		B (79点～70点)		
可		C (69点～60点)		
不可		F (59点～0点)		不合格

ただし、かっこ内の点数は評価を100点満点の場合の得点として示したものである。

- ② 前項の定めにかかわらず履修成績の評価は、次のように表すことができる。

P (Pass)	合格
F (Failure)	不合格

- ③ 本条第1項および第2項の履修成績F(不合格)以外に、次の各号のいずれかに該当する場合は、不合格とする。

1 試験欠席(『南山大学試験規程』により実施される定期試験、追試験、再試験またはそれらに準ずる試験に欠席した場合、X)

2 欠席過多(授業の欠席過多により当該授業科目の成績評価が不合格と判定された場合、S)

**第20条** （削除）

**（履修成績評価の疑問調査）**

**第21条** 第19条における成績評価または不合格に対して疑問がある場合は疑問調査を願い出ることができる。

② 疑問調査は、成績発表後1週間以内に名古屋キャンパスの学生は学務部教務課、瀬戸キャンパスの学生は学務係に願い出るものとする。

**（試験における不正行為）**

**第22条** 試験において不正行為があった場合は、その学生の当該年度の履修科目の一部または全部の単位を与えない。

## 第7章 既修得単位等の認定

**（他の大学または短期大学における修得単位）**

**第23条** 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

② 学生が外国の大学に留学する場合には、前項の規定を準用する。

③ 学生が外国の大学において授業科目を履修し、制度上当該大学より単位を授与されない場合は、教授会の定めるところにより、本大学の単位を修得したものと認定することができる。

**（大学以外の教育施設等における学修）**

**第23条の2** 本大学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、教授会の定めるところにより単位を与えることができる。

② 前項により与えることができる単位数は、前条により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

③ 本条に関する取扱いは、別に定める。

**（編入学者および転入学者の既修得単位）**

**第24条** 本大学を卒業し、改めて本大学に編入学した場合は、

既修得単位の一部を入学後に修得したものと認定することができる。

- ② 学生が他の大学（外国の大学も含む）を卒業または中途退学し、本大学に編入学または転入学した場合には、既修得単位の全部または一部を入学後に修得したものと認定することができる。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところによって試験を課すことがある。
- ③ 本条に関する細則は別に定める。

#### （入学前の既修得単位等の認定）

**第25条** 本大学は、教育上有益と認めるときは、次の各号に定める単位を、教授会の定めるところにより、入学後に修得したものと認定することができる。

- 1 本大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。
- 2 他の大学または短期大学を卒業または中途退学し、新たに本大学の1年次に入学した学生が入学前に修得した単位。ただし、単位の認定にあたっては教授会の定めるところにより試験を課すことがある。
- 3 学生が入学する前に行った第23条の2第1項に規定する学修。

② 前項の各号により与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第23条および第23条の2第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

③ 本条に関する細則は、別に定める。

#### （再入学者および転部・転科者の既修得単位）

**第26条** 再入学を許可された者の既修得単位は、入学後も引き続き有効とする。

- ② 転部・転科を許可された者の既修得単位は、転部・転科後も引き続き有効とする。
- ③ 前項に関する細則は別に定める。

## 第8章 退 学

### (修得単位不足等による退学)

**第27条** 在学7ヵ年（休学期間は算入しない）におよび、なお卒業に必要な単位を修得しない者、その他成業の見込みのない者には退学を命ずる。

② 入学後1年を経過してもなお修得単位数が16単位未満、2年を経過しても32単位未満、3年を経過しても48単位未満等の場合には、退学を命ずることがある。ただし、病気その他重大な事由による場合はこの限りでない。

③ 正当の理由がなくて引き続き長期欠席した者には退学を命ずることがある。

#### 附 則

(施行期日) この規程は、昭和46年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和48年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和49年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和50年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和51年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和52年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和55年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和57年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

#### 附 則

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成11年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。  
ただし、平成11年度までの入学生については従来どおりする。

**附 則**

この規程の改正は、平成14年4月1日から施行する。

# 南山大学試験規程

## 第1章 総 則

**第1条** 「南山大学学則」第17条にいう試験に関する事項は、この規程の定めるところによる。

**第2条** 試験は、「南山大学学則」第17条の定めるところにより、履修した授業科目に対してのみ行うものとする。

**第3条** 試験には定期試験、追試験および再試験がある。ただし、レポート等をもって試験に代える場合がある。その場合はこの規程に定める各条の適用を受けるものとする。

② 実技・実習科目および卒業論文科目については、実技・実習または卒業論文の提出をもって定期試験に代えることができる。

**第4条** 試験を受ける者は、次の条件を満たす者でなければならない。

1 (削除)

2 授業料その他を完納していること。

**第5条** 試験における不正行為に対する処置は、「南山大学学生懲戒規程」の定めるところによる。

## 第2章 定期試験

**第6条** 定期試験とは、学年暦に示される期間に行うものをいう。

**第7条** 定期試験は、春学期（前期）末および秋学期（後期）末に行う。

② 春学期（前期）開講科目、秋学期（後期）開講科目および通年開講科目以外の、集中講義等科目については、当該授業終了後に行うことができる。

③ 通年開講科目のうち、共通教育科目は共通教育委員会の定めるところにより、また学部共通科目、学科科目、教職、博物館学芸員、司書および学校図書館司書教諭に関する科目は、学部教授会の定めるところにより、春学期（前期）試験を省くことができる。

## 第3章 追 試 験

### 第1節 追 則

**第8条** 病気、その他やむを得ない理由で定期試験に出席できない者に対して追試験を行う。

**第9条** 追試験の成績は、1割減点とする。

**第10条** 追試験を受験する者は、追試験受験手数料を納入しなければならない。その額については、別に定める。

**第11条** 教育実習および介護等体験のため定期試験に出席できない者に対する追試験には、第9条および第10条を適用しない。

### 第2節 追試験の実施

**第12条** 追試験は、第7条に定める試験の終了後一定の期日に行う。ただし、正当な理由があるときは、当該試験の終了後2ヵ月以内に臨時に行うことがある。

**第13条** 追試験を受けるには、次に定める手続をとらなければならない。

- 1 名古屋キャンパスの学生は学務部教務課へ、瀬戸キャンパスの学生は学務係へ事前に追試験受験願を提出するものとする。この場合医師の診断書、その他欠席の理由を明らかにする証明書を添付しなければならない。
- 2 急病、その他、突発事故の生じた場合は、直ちに所属キャンパスの学務部教務課または学務係へ連絡し、前号に定める手続をとるものとする。なお、手続の最終期限は、定期試験については、試験期間の最終日の翌日から数えて3日目、第7条第2項の試験については、当該試験日の翌日から数えて3日目（いずれも日曜、祝日および事務休業日を除く。）とする。

**第14条** 追試験の受験許可は、教務委員会が行う。

**第15条** 第3条に定めるレポートを病気、その他やむを得ない理由で所定の期限内に提出できない者は、第13条に定める手続をとるものとする。

## 第4章 再 試 験

### 第1節 通 則

**第16条** 再試験は、卒業年次学生に対してのみ行うものとする。ただし、当該授業科目について「南山大学授業科目履修規程」第19条に定める試験欠席および欠席過多に該当する者に対しては行わない。

**第17条** 再試験受験者は、再試験受験手数料を納入しなければならない。その金額については別に定める。

**第18条** 再試験の受験は、卒業に必要な所定単位に2科目以内の単位が不足する者または資格取得に2科目以内の単位が不足する者について、第2節に定める再試験科目のうちその不足する科目・単位数を限度に認められる。

② 再試験科目は、2科目以内とし、「南山大学授業科目履修規程」第19条に定める「履修成績不可・F」に該当する科目に限る。

### 第2節 再試験科目

**第19条** 再試験は、卒業年次に履修した科目で、次のいずれかに該当するもののうち、学部教授会が認めたものについて行うことができる。ただし、共通教育科目のうち体育科目および外国語科目を除く。

- 1 卒業に必要な共通教育科目、学部共通科目および学科科目
- 2 教育職員免許状取得に必要な教職に関する科目および教科に関する科目
- 3 博物館学芸員の基礎資格として必要な科目
- 4 司書の基礎資格として必要な科目
- 5 学校図書館司書教諭の基礎資格として必要な科目

### 第3節 再試験の実施

**第20条** 再試験を行う時期は、学部教授会がこれを定める。

**第21条** 再試験の成績評価は、可（C-合格）または不可

(F-不合格)とする。

**第22条** 再試験合格により、卒業する者の卒業の時期は、3月31日あるいは9月15日（平成11年度以前の入学生は9月30日）とする。

**附 則**

- 1 この規程は、昭和50年4月1日から施行する。
- 2 再試験に関する内規（昭和41年10月18日施行）  
追試験に関する内規（昭和42年9月29日施行）  
追試験に関する覚書（昭和42年9月29日施行）は廃止する。

**附 則**

この規程の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成4年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成5年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成6年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成7年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成8年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成10年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程の改正は、平成12年4月1日から施行する。

# 共通教育科目

## 共通教育科目履修要項

[2000年度以降に入学した学生に適用]

欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を越えるときの履修成績評価は、欠席過多（S）による不合格とする。

### A 宗教科目履修要項

1. 卒業のためには、宗教科目を4単位履修しなければならない。
2. 宗教科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)

必修

宗 教 論 (2)	1年次
キリスト教概論 (2)	2年次 (但し、キリスト教 学科については1年次必修)

### B 「人間の尊厳」科目履修要項

1. 卒業のためには、2科目4単位履修しなければならない。
2. 「人間の尊厳」科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)

選択必修

宗教に見る人間の尊厳 (2)	哲学・倫理学における人間の尊厳 (2)
思想史に学ぶ人間の尊厳 (2)	政治・経済と人間の尊厳 (2)
法と人間の尊厳 (2)	性と生命における人間の尊厳 (2)
教育・文化における人間の尊厳 (2)	民族問題と人間の尊厳 (2)

3. 履修年次は2・3・4年次とする。
4. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
5. 同一年度に登録できるのは、原則として2科目までとする。

### C 外国語科目履修要項

1. 外国語科目の卒業のための要件は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 外国語科目は次のとおりである。  
(1) 外国語科目の履修年次及び履修方法

## 英語

### (1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)、III (2年次春学期)、IV (2年次秋学期) とする。

### (2) 履修方法

- a. I、II、III、IVはこの順番で履修しなければならない。
- b. 再履修者に限り I、II と III、IV を同時に履修できる。

## フランス語

### (1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期) を原則とする。

I、II 以外は履修年次を指定しないが、I、II は初級、III、IV は中級である。

### (2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II 文法・講読と I、II 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、II と III、IV を同時に履修できる。
- c. III、IV は順番に履修しなくてもよい。

## ドイツ語

### (1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期) を原則とする。

### (2) 履修方法

- a. 1年次生は、I、II 文法・講読と I、II 会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. I、II と III、IV を同時に履修できる。
- c. III、IV は順番に履修しなくてもよい。
- d. I、II 以外はペアで履修しなくてもよい。

## スペイン語・ポルトガル語

### (1) 履修年次

I (1年次春学期)、II (1年次秋学期)、III (2年次春学期)、IV (2年次秋学期) とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、Ⅰ、Ⅱ文法・講読とⅠ、Ⅱ会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. Ⅰ、ⅡとⅢ、Ⅳを同時に履修できる。
- c. Ⅲ、Ⅳは順番に履修しなければならない。
- d. ⅠとⅡ、ⅢとⅣはペアで履修しなければならない。

中国語

(1) 履修年次

Ⅰ(1年次春学期)、Ⅱ(1年次秋学期)とする。Ⅲ、Ⅳは2年次以降の履修とする。

(2) 履修方法

- a. 1年次生は、Ⅰ、Ⅱ語法とⅠ、Ⅱ会話・作文を同時に履修しなければならない。
- b. Ⅰ、ⅡとⅢ、Ⅳを同時に履修できる。
- c. Ⅲ、Ⅳは順番に履修しなくてもよい。

インドネシア語

(1) 履修年次

Ⅰ(1年次春学期)、Ⅱ(1年次秋学期)とする。

(2) 履修方法

1年次生は、Ⅰ、Ⅱ文法・講読とⅠ、Ⅱ会話・作文を同時に履修しなければならない。

ラテン語

(1) 履修年次

Ⅰ(1年次春学期)、Ⅱ(1年次秋学期)、Ⅲ(2年次春学期)、Ⅳ(2年次秋学期)とする。

但し、再履修者等には、秋学期にⅠ、春学期にⅡを履修できる科目を2002年度より新規開設する。

(2) 履修方法

- a. 1年次はⅠとⅡ、ⅢとⅣの同時履修はできない。
- b. Ⅰ、ⅡとⅢ、Ⅳはそれぞれ順番に履修しなければならない。

c. IとII、IIIとIVはそれぞれペアで履修しなければならない。

### ギリシャ語

(1) 履修年次

各年次履修できる。

(2) 履修方法

a. IとIIとは順番に履修しなければならない。

### 日本語

日本語の履修は、別に定める「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」によるので、参照のこと。

## (2) 外国語科目

## 必修外国語

(カッコ内の数字は単位数)

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キリスト教学科(4)	ラテン語Ⅰ文法(1) ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ文法(1) ラテン語Ⅱ講読(1)		
人間文化学科(4) 心理人間学科 日本文化学科	英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)		
英米学科(8)	英語Ⅰ・リスニングA(3) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ・リスニングA(3) 英語Ⅱリーディング(1)		
スペイン・ ラテンアメリカ 学科(14)	基礎スペイン語Ⅰ文法(2) 基礎スペイン語Ⅰ講読(1) 基礎スペイン語Ⅰ作文(1) 英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	基礎スペイン語Ⅱ文法(2) 基礎スペイン語Ⅱ講読(1) 基礎スペイン語Ⅱ作文(1) 英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲ・リスニングB(1)	英語Ⅳ・リスニングB(1)
フランス学科 (14)	基礎フランス語ⅠA(1) 基礎フランス語ⅠB(1) 基礎フランス語ⅠC(1) 基礎フランス語ⅠD(1) 英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	基礎フランス語ⅡA(1) 基礎フランス語ⅡB(1) 基礎フランス語ⅡC(1) 基礎フランス語ⅡD(1) 英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲ・リスニングB(1)	英語Ⅳ・リスニングB(1)
ドイツ学科 (14)	基礎ドイツ語Ⅰ文法(1) 基礎ドイツ語Ⅰ講読(1) 英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	基礎ドイツ語Ⅱ文法(1) 基礎ドイツ語Ⅱ講読(1) 英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲ・リスニングB(1)	英語Ⅳ・リスニングB(1)
アジア学科 (18)	中国語Ⅰ語法(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1) 韓国語Ⅰ文法・講読(1) 韓国語Ⅰ会話・作文(1) 英語Ⅰ・リスニングB(1)	中国語Ⅱ語法(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1) 韓国語Ⅱ文法・講読(1) 韓国語Ⅱ会話・作文(1) 英語Ⅱ・リスニングB(1)	中国語Ⅲ語法(1) 中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ語法(1) 中国語Ⅳ会話・作文(1)
経済学科(8)	英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲ・リスニングB(1) 英語Ⅲリーディング(1)	英語Ⅳ・リスニングB(1) 英語Ⅳリーディング(1)
経営学科(8)	英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱライティング(1)	英語Ⅲ・リスニングB(1) 英語Ⅲ音声表現(1)	英語Ⅳ・リスニングB(1) 英語Ⅳライティング(1)
法律学科(4)	英語Ⅰ・リスニングB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱ・リスニングB(1) 英語Ⅱリーディング(1)		

## 選択必修外国語

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
キリスト教学科 (8)	* 1カ国語で8単位を修得。または2カ国語で8単位(各言語4単位)を修得。			
			ラテン語Ⅲ文法(1)	ラテン語Ⅳ文法(1)
			ラテン語Ⅲ講読(1)	ラテン語Ⅳ講読(1)
	英語Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ(1)	英語Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ(1)	英語Ⅲ+Ⅳ(1)	英語Ⅳ(1)
	英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲリーディング(1)	英語Ⅳリーディング(1)
	英語Ⅰ総合(1)	英語Ⅱ総合(1)	英語Ⅲ総合(1)	英語Ⅳ総合(1)
	フランス語Ⅰ文法・講読(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1)	フランス語Ⅲ文法・講読(1)	フランス語Ⅳ文法・講読(1)
	フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ会話・作文(1)	フランス語Ⅲ会話・作文(1)	フランス語Ⅳ会話・作文(1)
	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅲ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読(1)
	ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅲ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文(1)
	スペイン語Ⅰ文法・講読(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1)	スペイン語Ⅲ文法・講読(1)	スペイン語Ⅳ文法・講読(1)
	スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ会話・作文(1)	スペイン語Ⅲ会話・作文(1)	スペイン語Ⅳ会話・作文(1)
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)		
	中国語Ⅰ語法(1)	中国語Ⅱ語法(1)	中国語Ⅲ語法(1)	中国語Ⅳ語法(1)
	中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ会話・作文(1)	中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ会話・作文(1)
インドネシア語Ⅰ文法・講読(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1)			
インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)			
人類文化学科 心理人間学科 日本文化学科 (8)	* 1ないし2カ国語8単位(但し、英語は2単位～4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。			
	英語Ⅰライティング(1)	英語Ⅱライティング(1)	英語Ⅲ+Ⅳライティング(1)	英語Ⅳライティング(1)
	英語Ⅰ音声表現(1)	英語Ⅱ音声表現(1)	英語Ⅲリーディング(1)	英語Ⅳリーディング(1)
	英語Ⅰ総合(1)	英語Ⅱ総合(1)	英語Ⅲ総合(1)	英語Ⅳ総合(1)
	フランス語Ⅰ文法・講読(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1)	フランス語Ⅲ文法・講読(1)	フランス語Ⅳ文法・講読(1)
	フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ会話・作文(1)	フランス語Ⅲ会話・作文(1)	フランス語Ⅳ会話・作文(1)
	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅲ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読(1)
	ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅲ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文(1)
	スペイン語Ⅰ文法・講読(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1)	スペイン語Ⅲ文法・講読(1)	スペイン語Ⅳ文法・講読(1)
	スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ会話・作文(1)	スペイン語Ⅲ会話・作文(1)	スペイン語Ⅳ会話・作文(1)
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)		
	中国語Ⅰ語法(1)	中国語Ⅱ語法(1)	中国語Ⅲ語法(1)	中国語Ⅳ語法(1)
	中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ会話・作文(1)	中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ会話・作文(1)
	インドネシア語Ⅰ文法・講読(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1)		
	インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)		
ラテン語Ⅰ文法(1)	ラテン語Ⅱ文法(1)	ラテン語Ⅲ文法(1)	ラテン語Ⅳ文法(1)	
ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ講読(1)	ラテン語Ⅲ講読(1)	ラテン語Ⅳ講読(1)	
ギリシア語Ⅰ文法(1)	ギリシア語Ⅱ文法(1)			
ギリシア語Ⅰ講読(1)	ギリシア語Ⅱ講読(1)			
英米学科 (8)	* 1ないし2カ国語8単位(但し、1言語は4単位以上)を修得。			
	フランス語Ⅰ文法・講読(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1)	フランス語Ⅲ文法・講読(1)	フランス語Ⅳ文法・講読(1)
	フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ会話・作文(1)	フランス語Ⅲ会話・作文(1)	フランス語Ⅳ会話・作文(1)
	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅲ文法・講読(1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読(1)
	ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅲ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文(1)
	スペイン語Ⅰ文法・講読(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1)	スペイン語Ⅲ文法・講読(1)	スペイン語Ⅳ文法・講読(1)
	スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ会話・作文(1)	スペイン語Ⅲ会話・作文(1)	スペイン語Ⅳ会話・作文(1)
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)		
	中国語Ⅰ語法(1)	中国語Ⅱ語法(1)	中国語Ⅲ語法(1)	中国語Ⅳ語法(1)
	中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ会話・作文(1)	中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ会話・作文(1)
	インドネシア語Ⅰ文法・講読(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1)		
	インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)		
	ラテン語Ⅰ文法(1)	ラテン語Ⅱ文法(1)	ラテン語Ⅲ文法(1)	ラテン語Ⅳ文法(1)
	ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ講読(1)	ラテン語Ⅲ講読(1)	ラテン語Ⅳ講読(1)
	ギリシア語Ⅰ文法(1)	ギリシア語Ⅱ文法(1)		
ギリシア語Ⅰ講読(1)	ギリシア語Ⅱ講読(1)			

学 科	1 年 次 生		2 年 次 生	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期
経済学科 (4)	* 1 カ国語を選択して 4 単位修得。			
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)		
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)		
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)		
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)		
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)		
	インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)		
	インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ラテン語Ⅰ文法 (1)	ラテン語Ⅱ文法 (1)		
	ラテン語Ⅰ講読 (1)	ラテン語Ⅱ講読 (1)		
	ギリシア語Ⅰ文法 (1)	ギリシア語Ⅱ文法 (1)		
	ギリシア語Ⅰ講読 (1)	ギリシア語Ⅱ講読 (1)		
経営学科 (4)	* 1 カ国語 4 単位を修得。			
	英語Ⅰ音声表現 (1)	英語Ⅱ音声表現 (1)	英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅲリーディング (1)
	英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)		英語Ⅳ総合 (1)
				3 年次生
			英語Ⅳリーディング (1)	
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)		
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)		
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)		
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)		
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)		
	インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)		
	インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)		
ラテン語Ⅰ文法 (1)	ラテン語Ⅱ文法 (1)			
ラテン語Ⅰ講読 (1)	ラテン語Ⅱ講読 (1)			
ギリシア語Ⅰ文法 (1)	ギリシア語Ⅱ文法 (1)			
ギリシア語Ⅰ講読 (1)	ギリシア語Ⅱ講読 (1)			
法律学科 (4)	* 1 カ国語 4 単位を修得。			
	英語Ⅰライティング (1)	英語Ⅱライティング (1)	英語Ⅲライティング (1)	英語Ⅳライティング (1)
	英語Ⅰ音声表現 (1)	英語Ⅱ音声表現 (1)	英語Ⅲリーディング (1)	英語Ⅳリーディング (1)
	英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)	英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅳ総合 (1)
	フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)	フランス語Ⅲ文法・講読 (1)	フランス語Ⅳ文法・講読 (1)
	フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)	フランス語Ⅲ会話・作文 (1)	フランス語Ⅳ会話・作文 (1)
	ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅲ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読 (1)
	ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅲ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文 (1)
	スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅲ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅳ文法・講読 (1)
	スペイン語Ⅰ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅱ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅲ会話・作文 (1)	スペイン語Ⅳ会話・作文 (1)
	ポルトガル語Ⅰ文法・講読 (1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読 (1)		
	ポルトガル語Ⅰ会話・作文 (1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文 (1)		
	中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)	中国語Ⅲ語法 (1)	中国語Ⅳ語法 (1)
	中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)	中国語Ⅲ会話・作文 (1)	中国語Ⅳ会話・作文 (1)

(3) 各学部・学科の外国語科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

### 英語

英語Ⅰオラル・コミュニケーションA (3)	英語Ⅱオラル・コミュニケーションA (3)
英語Ⅰオラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅱオラル・コミュニケーションB (1)
英語Ⅲオラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅳオラル・コミュニケーションB (1)
英語Ⅰリーディング (1)	英語Ⅱリーディング (1)
英語Ⅲリーディング (1)	英語Ⅳリーディング (1)
英語Ⅰライティング (1)	英語Ⅱライティング (1)
英語Ⅰ音声表現 (1)	英語Ⅱ音声表現 (1)
英語Ⅰ総合 (1)	英語Ⅱ総合 (1)
英語Ⅲ総合 (1)	英語Ⅳ総合 (1)

### フランス語

フランス語Ⅰ文法・講読 (1)	フランス語Ⅱ文法・講読 (1)
フランス語Ⅲ文法・講読 (1)	フランス語Ⅳ文法・講読 (1)
フランス語Ⅰ会話・作文 (1)	フランス語Ⅱ会話・作文 (1)
フランス語Ⅲ会話・作文 (1)	フランス語Ⅳ会話・作文 (1)
基礎フランス語ⅠA (1)	基礎フランス語ⅡA (1)
基礎フランス語ⅠB (1)	基礎フランス語ⅡB (1)
基礎フランス語ⅠC (1)	基礎フランス語ⅡC (1)
基礎フランス語ⅠD (1)	基礎フランス語ⅡD (1)

### ドイツ語

ドイツ語Ⅰ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読 (1)
ドイツ語Ⅲ文法・講読 (1)	ドイツ語Ⅳ文法・講読 (1)
ドイツ語Ⅰ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅱ会話・作文 (1)
ドイツ語Ⅲ会話・作文 (1)	ドイツ語Ⅳ会話・作文 (1)
基礎ドイツ語Ⅰ文法 (1)	基礎ドイツ語Ⅱ文法 (1)
基礎ドイツ語Ⅰコミュニケーション (2)	基礎ドイツ語Ⅱコミュニケーション (2)
基礎ドイツ語Ⅰ講読 (1)	基礎ドイツ語Ⅱ講読 (1)

### スペイン語

スペイン語Ⅰ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅱ文法・講読 (1)
スペイン語Ⅲ文法・講読 (1)	スペイン語Ⅳ文法・講読 (1)

スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ会話・作文(1)
スペイン語Ⅲ会話・作文(1)	スペイン語Ⅳ会話・作文(1)
基礎スペイン語Ⅰ文法(2)	基礎スペイン語Ⅱ文法(2)
基礎スペイン語Ⅰ講読(1)	基礎スペイン語Ⅱ講読(1)
基礎スペイン語Ⅰ作文(1)	基礎スペイン語Ⅱ作文(1)

### ポルトガル語

ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1)
ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)

### 中国語

中国語Ⅰ語法(1)	中国語Ⅱ語法(1)
中国語Ⅲ語法(1)	中国語Ⅳ語法(1)
中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ会話・作文(1)
中国語Ⅲ会話・作文(1)	中国語Ⅳ会話・作文(1)

### インドネシア語

インドネシア語Ⅰ文法・講読(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1)
インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)

### ラテン語

ラテン語Ⅰ文法(1)	ラテン語Ⅱ文法(1)
ラテン語Ⅲ文法(1)	ラテン語Ⅳ文法(1)
ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ講読(1)
ラテン語Ⅲ講読(1)	ラテン語Ⅳ講読(1)

### ギリシャ語

ギリシャ語Ⅰ文法(1)	ギリシャ語Ⅱ文法(1)
ギリシャ語Ⅰ講読(1)	ギリシャ語Ⅱ講読(1)

### 日本語

日本語Ⅰ(3)	日本語Ⅱ(2)
日本語Ⅲ(3)	
総合日本語A(2)	総合日本語B(2)

3. 選択必修科目として必要な単位数を超過して修得した単位数及び選択必修科目以外の外国語科目の単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

#### D 体育科目履修要項

1. 卒業のためには、体育科目を2単位履修しなければならない。
2. 体育科目は次のとおりである。(カッコ内の数字は単位数)必修

基礎体育 A (1) 1年次(春学期)

基礎体育 B (1) 1年次(秋学期)

#### 選択

スポーツ実技(個人スポーツ) (1) スポーツ実技(集団スポーツ) (1)

スポーツ実技(アウトスポーツ) (1) スポーツ実技(健康スポーツ) (1)

スポーツ実技(生涯スポーツ) (1) スポーツ実技(フィットネス) (1)

3. 基礎体育 A (春学期)、基礎体育 B (秋学期) とともに、各学期の第1週に履修方法についてのガイダンスを実施し、コースの選択をおこなう。
4. スポーツ実技の履修年次は、2・3・4年次とする。
  - a. スポーツ実技は基礎体育の2単位を修得した者を対象に開講され、各年次において3単位を上限として履修できる。ただし、集中を除き、同一学期に2科目を履修することはできない。
  - b. スポーツ実技として修得できる単位は上限6単位とする。
5. スポーツ実技は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
6. 体育科目については、欠席時数が授業予定総時数の20%を越える場合、「欠席過多(S)」による不合格とする。

#### E テーマ科目履修要項

1. 卒業のためには、テーマ科目を10単位履修しなければならない。

2. テーマ科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

選択必修

「異文化との出会い」(2)

文化の比較	異文化との接触
異文化の理解	日本との出会い
アジアとの出会い	イスラムとの出会い
ヨーロッパとの出会い	南北アメリカとの出会い

「生命と環境」(2)

生命と倫理問題	環境と倫理問題
人間と環境	生活環境と物質
自然環境と生物	生命観と環境観の変遷
社会システムと環境	生命と法律問題

「知識・言語と情報社会」(2)

ことばとは	ことばとは
知識の探求	プライバシーと倫理
人間と機械	文化と情報
情報社会の構造	情報を読む

「モダンの系譜」(2)

思想・文化をめぐって	芸術をめぐって
歴史の諸相	文学をめぐって
社会の諸相	科学の諸相
人権をめぐって	政治・経済の諸相

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

(2) 「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」の4つの中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

3. 超過して修得した単位数は、各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

## F 分野科目履修要項

1. 分野科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 分野科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)

## 選択

哲学A	(2)	哲学B	(2)
文学A	(2)	文学B	(2)
考古学A	(2)	考古学B	(2)
日本史A	(2)	日本史B	(2)
東洋史A	(2)	東洋史B	(2)
西洋史A	(2)	西洋史B	(2)
美術A	(2)	美術B	(2)
音楽A	(2)	音楽B	(2)
法学A	(2)	法学B	(2)
日本国憲法	(2)	政治学A	(2)
政治学B	(2)	文化人類学A	(2)
文化人類学B	(2)	社会学A	(2)
社会学B	(2)	経済学A	(2)
経済学B	(2)	数学A	(2)
数学B	(2)	物理学A	(2)
物理学B	(2)	生命自然史	(2)
生命科学	(2)	基礎生物学セミナーA	(4)
基礎生物学セミナーB	(4)	化学	(2)
心理学A	(2)	心理学B	(2)
科学技術論A	(2)	科学技術論B	(2)
地球科学A	(2)	地球科学B	(2)
スポーツ科学論	(2)	健康科学論	(2)
スポーツ科学演習I	(2)	スポーツ科学演習II	(2)

(1) 履修年次は、1・2・3・4年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。

## G 情報科目履修要項

1. 情報科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. 情報科目は次のとおりである。(かっこ内の数字は単位数)  
選択

情報リテラシー (2)

(1) 履修年次は、1・2年次とする。

3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. 情報リテラシーは、人文学部キリスト教学科・外国語学部・法学部の学生に限って登録ができる。
5. 情報リテラシーは、自由科目（卒業必要単位に算入されない科目）として履修することはできない。

#### H インターンシップ科目履修要項

1. インターンシップ科目の卒業のための要件等は、各学部・学科の定めるところによる。
2. インターンシップ科目は次のとおりである。（カッコ内の数字は単位数）  
選択  
    インターンシップ研修      (2)  
    (1) 履修年次は、3年次とする。
3. 各学部・学科の定めるところにより卒業に必要な単位数に加えることができる。
4. インターンシップ研修は、自由科目（卒業必要単位に算入されない科目）として履修することはできない。

人 文 学 部

## 人文学部履修要項

1. 人文学部生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目20単位以上、学科科目56単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「共通教育科目履修要項」及び「各学科履修要項のⅠ」を参照のこと）。
3. 学部共通科目、学科科目は必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める（「各学科履修要項のⅡならびにⅢ」を参照のこと）。
4. それぞれの科目の履修年次については別に定める（「共通教育科目履修要項」及び「各学科履修要項」を参照のこと）。
5. 人文学部生は、下記の科目を卒業に必要な単位として算入することができる。
  - (1) 共通教育科目、学部共通科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位を越えて履修した選択必修科目ならびに選択科目。
  - (2) 他学科の学科科目（他学科生履修不可の科目を除く）。
  - (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目（他学部、他学科生履修不可の科目を除く）。ただし、その際の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 人文学部生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」及び「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目を自由科目として履修することができる。ただし、自由科目は卒業に必要な単位には算入されない。
7. 人文学部生が学期ごとに登録を許される総単位数は自由科目を除き、24単位とする。ただし、学期をまたがる通年科目の単位数については、学期ごとにその単位数の2分の1と算定する。なお、自由科目については、学期ごとの登録

単位数の制限を設けない。

8. 欠席時数が授業科目の授業予定総時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績を原則として「欠席過多 (S)」による不合格とする。

## キリスト教学科履修要項 ※ ( ) 内は単位数

キリスト教学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目20単位以上、学科科目56単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。

### I. 共通教育科目 (32)

キリスト教学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得しなければならない。

#### 宗教科目 (4)

必修

第1年次

宗 教 論 (2) キリスト教概論 (2)

#### 「人間の尊厳」科目 (4)

選択必修

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

#### 外国語科目 (12)

キリスト教学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

必修

第1年次

ラテン語 I 文法 (1) ラテン語 I 講読 (1)

ラテン語 II 文法 (1) ラテン語 II 講読 (1)

選択必修

第1年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。  
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、インドネシア語、ラテン語

#### 体育科目 (2)

必修

第1年次

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)  
テーマ科目 (10)

選択必修

第1年次以降

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること（但し、各テーマにつき2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」                      「生命と環境」  
「知識・言語と情報社会」              「モダンの系譜」

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位数に算入される。「IV. 任意選択科目」の項を参照のこと。

II. 学部共通科目 (20)

キリスト教学科学生は、学部共通科目として、必修科目を4単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を10単位以上、合計20単位以上を修得しなければならない。なお、所定の単位数を超過して履修した選択必修科目は、選択科目に算入される。

必修科目 (4)

第1年次

人文学基礎演習 I (2)      人文学基礎演習 II (2)

選択必修科目 (6)

第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位修得すること。その際、\*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科目、合計3科目6単位を修得すること。

\*人文学基礎論 (2)                      \*人文学基礎論 (2)  
(神学研究入門)                      (キリスト教文化入門)

人文学基礎論 (2)                      人文学基礎論 (2)  
(哲学人間学入門)                      (文化人類学入門)

人文学基礎論 (2) (考古学入門)	人文学基礎論 (2) (言語学入門)
人文学基礎論 (2) (教育学入門)	人文学基礎論 (2) (人間関係論入門)
人文学基礎論 (2) (日本文学入門)	人文学基礎論 (2) (日本文学入門)
人文学基礎論 (2) (日本語学入門)	人文学基礎論 (2) (日本語教育入門)

## 選択科目 (10)

## 第2年次以降

次の科目の中から、5科目10単位以上を修得すること。

日本史概説 (2)	世界史概説 (2)
東洋史概説 (2)	自然地理学概論 (2)
人文地理学概論 (2)	地誌概論 (2)
宗教学概論 (2)	倫理学概論 (2)
哲学概論 (2)	社会学概論 A (2)
社会学概論 B (2)	経済学概論 A (2) (国際経済を含む)
経済学概論 B (2) (国際経済を含む)	政治学概論 (2) (国際政治を含む)
法学概論 (2) (国際法を含む)	視聴覚メディア論 (2)
情報組織化論 (2)	子ども・青年論 (2)
ジェンダー論 (2)	生涯学習論 (2)
現代教育論 (2)	福祉論 (2)

## Ⅲ. 学科科目 (56)

キリスト教学科学生は、必修科目を16単位、選択科目を40単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。

## 必修科目 (16)

## 第1年次

旧約聖書入門 (2)	新約聖書入門 (2)
------------	------------

## 第3年次

## 人文学部 キリスト教学科

### キリスト教学演習Ⅰ(4)

#### 第4年次

#### キリスト教学演習Ⅱ及び研究プロジェクト(8)

なお、「キリスト教学演習Ⅱ及び研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出しなければならない。

#### 選択科目(40)

##### 第1年次以降

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 旧約・新約時代史(2) | 古代哲学史(2)    |
| 中世哲学史(2)    | 近世・現代哲学史(2) |
| キリスト教芸術(2)  |             |

##### 第2年次以降

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 東方キリスト教思想A(2)    | 東方キリスト教思想B(2)   |
| 西方キリスト教思想A(2)    | 西方キリスト教思想B(2)   |
| 組織神学(キリスト論)(2)   | 組織神学(神学的人間論)(2) |
| 組織神学(終末論)(2)     | 組織神学(秘跡論)(2)    |
| 組織神学(キリスト論争史)(2) | 組織神学(三位一体論)(2)  |
| 旧約聖書学A(2)        | 旧約聖書学B(2)       |
| 新約聖書学A(2)        | 新約聖書学B(2)       |
| キリスト教倫理学A(2)     | キリスト教倫理学B(2)    |
| 文献講読Ⅰ(2)         | 文献講読Ⅱ(2)        |
| キリスト教学特殊講義A(2)   | キリスト教学特殊講義B(2)  |
| キリスト教史A(2)       | キリスト教史B(2)      |
| 日本キリスト教史(2)      | アジアとキリスト教(2)    |
| 宗 教 学(2)         | 宗 教 史(2)        |
| 宗 教 思 想 A(2)     | 宗 教 思 想 B(2)    |
| 初期キリスト教思想史A(2)   | 初期キリスト教思想史B(2)  |
| 宗 教 社 会 学(2)     | 聖書ギリシャ語(初級)Ⅰ(2) |
| 聖書ギリシャ語(初級)Ⅱ(2)  | 聖書ヘブライ語Ⅰ(2)     |
| 聖書ヘブライ語Ⅱ(2)      |                 |

##### 第3年次以降

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 聖書ギリシャ語(中級)Ⅰ(2) | 聖書ギリシャ語(中級)Ⅱ(2) |
| カウンセリング指導法(2)   | 典 礼 学 A(2)      |
| 典 礼 学 B(2)      | 実 践 神 学 A(2)    |

実践神学 B (2) 教会法 A (2)  
教会法 B (2)

#### IV. 任意選択科目 (20)

キリスト教学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得しなければならない。任意選択科目として認められる科目は以下の通りである。

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目  
人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目

キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目

名古屋キャンパスの他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）

（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない。）

# 人文学部 キリスト教学科

## 人文学部キリスト教学科カリキュラム表

### 【人文学部 キリスト教学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 部	必 修		4単位修得しなければならない。			
			人文学基礎演習Ⅰ(2) 人文学基礎演習Ⅱ(2)			
共 通 科 目	選 択 必 修		6単位修得しなければならない。 人文学基礎論(神学研究入門)および人文学基礎論(キリスト教文化入門)の2科目4単位を必ず含むこと。 (6単位を超過して修得した単位は、選択科目に算入される。)			
	選 択		10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科 科 目	必 修		16単位修得しなければならない。			
			旧約聖書入門(2) 新約聖書入門(2)		キリスト教学演習Ⅰ (4)	キリスト教学演習Ⅱ 及び研究プロジェクト(8)
	選 択		40単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目			20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (3) キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (4) 名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)			
自由科目			「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目およびキリスト教学科で指定する司祭養成に関する科目(卒業に必要な単位には算入されない。)			

## 卒業に必要な単位数

人文学部キリスト教学科

総単位数 **128**共通教育科目 **32**必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(1年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ

各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、

基礎生物学セミナーB

各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 人文学部 キリスト教学科

※1 ※2

外国語科目 12

必修外国語科目 4

ラテン語 4

ラテン語Ⅰ、Ⅱ文法 各1  
ラテン語Ⅰ、Ⅱ講読 各1

選択必修外国語科目 8

英語 4~8

英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合 各1  
英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ⅣオーラルコミュニケーションB 各1  
英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳリーディング 各1

フランス語 4~8

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ドイツ語 4~8

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

スペイン語 4~8

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

中国語 4~8

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1  
中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ラテン語 4

ラテン語Ⅲ、Ⅳ文法 各1  
ラテン語Ⅲ、Ⅳ講読 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1  
ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

インドネシア語 4

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1  
インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

1ヶ国語で8単位を修得。  
または2ヶ国語で8単位（各  
言語4単位）を修得。

学部共通科目 20

必修科目 4

選択必修科目 6

選択科目 10

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学部共通科目のうち、選択必修科目の超過分の単位は選択科目に算入される。

学科科目 56

必修科目 16

選択科目 40

任意選択科目 20

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目、人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目、キリスト教学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目、および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない）。

## 人類文化学科履修要項※( )内は単位数

人類文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目20単位以上、学科科目56単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。

### I. 共通教育科目 (32)

人類文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得しなければならない。

#### 宗教科目 (4)

必修

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 「人間の尊厳」科目 (4)

選択必修

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

#### 外国語科目 (12)

人類文化学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修科目については、1ないし2カ国語8単位（但し、英語以外は1言語4単位以上）を修得すること。

必修

第1年次

英語IオーラルコミュニケーションB (1) 英語IIオーラルコミュニケーションB (1)

英語Iリーディング (1) 英語IIリーディング (1)

選択必修

第1年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。  
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

## 人文学部 人類文化学科

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、  
中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

### 体育科目（2）

#### 必修

##### 第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

### テーマ科目（10）

#### 選択必修

##### 第1年次以降

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること（但し、各テーマにつき2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」           「生命と環境」  
「知識・言語と情報社会」       「モダンの系譜」

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「Ⅳ.任意選択科目」の項を参照のこと。

## Ⅱ. 学部共通科目（20）

人類文化学科学生は、学部共通科目として、必修科目を4単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を10単位以上、合計20単位以上を修得しなければならない。なお、所定の単位数を超過して履修した選択必修科目は、選択科目に算入される。

### 必修科目（4）

#### 第1年次

人文学基礎演習Ⅰ（2） 人文学基礎演習Ⅱ（2）

### 選択必修科目（6）

#### 第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位を修得すること。その際、\*印の科目から1または2科目、それ以外の科

目から2または1科目、合計3科目6単位を修得すること。

人文学基礎論 (2) 人文学基礎論 (2)  
(神学研究入門) (キリスト教文化入門)

\*人文学基礎論 (2) \*人文学基礎論 (2)  
(哲学人間学入門) (文化人類学入門)

\*人文学基礎論 (2) \*人文学基礎論 (2)  
(考古学入門) (言語学入門)

人文学基礎論 (2) 人文学基礎論 (2)  
(教育科学入門) (人間関係論入門)

人文学基礎論 (2) 人文学基礎論 (2)  
(日本文化学入門) (日本文学入門)

人文学基礎論 (2) 人文学基礎論 (2)  
(日本語学入門) (日本語教育入門)

### 選択科目 (10)

#### 第2年次以降

次の科目の中から、5科目10単位以上を修得すること。

日本史概説 (2) 世界史概説 (2)

東洋史概説 (2) 自然地理学概論 (2)

人文地理学概論 (2) 地誌概論 (2)

宗教学概論 (2) 倫理学概論 (2)

哲学概論 (2) 社会学概論 A (2)

社会学概論 B (2) 経済学概論 A (2)  
(国際経済を含む)

経済学概論 B (2) 政治学概論 (2)  
(国際政治を含む)

法学概論 (2) 視聴覚メディア論 (2)  
(国際法を含む)

情報組織化論 (2) 子ども・青年論 (2)

ジェンダー論 (2) 生涯学習論 (2)

現代教育論 (2) 福祉論 (2)

### Ⅲ. 学科科目 (56)

人類文化学科学生は、必修科目を12単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を38単位以上、合計56単位以上

を修得しなければならない。

必修科目 (12)

第3年次

人類文化学演習Ⅰ (4)

第4年次

人類文化学演習Ⅱ及び研究プロジェクト (8)

なお、「人類文化学演習Ⅱ及び研究プロジェクト」を修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報告論文として提出しなければならない。

選択必修科目 (6)

第2年次以降

次の科目の中から、3科目6単位以上を修得すること。なお所定の単位数を超過して履修した選択必修科目は、選択科目に算入される。

論理学 (2)	言語論 (2)
科学文化論 (2)	社会人類学 (2)
宗教人類学 (2)	民族誌学 (2)
日本考古学 (2)	東洋考古学 (2)
文化史 (2)	

選択科目 (38)

第2年次以降

次の科目の中から、19科目38単位以上を修得すること。

言語と知識 (2) (文法と意味)	言語と知識 (2) (言語類型論と統語理論)
言語と知識 (2) (言語の哲学)	言語と知識 (2) (統語論)
言語と知識 (2) (コミュニケーションと言語)	人間と文化 (2) (人間理解の方法論)
人間と文化 (2) (人間文化の諸問題)	人間と文化 (2) (哲学と心の問題)
人間と文化 (2) (認識の枠組み)	人間と文化 (2) (知識と社会)
地域の文化と歴史 (2) (北太平洋)	地域の文化と歴史 (2) (東南アジア大陸部)
地域の文化と歴史 (2) (東アジア)	地域の文化と歴史 (2) (南アジア)

地域の文化と歴史 (2) (東南アジア島嶼部)	地域の文化と歴史 (2) (アフリカ)
地域の文化と歴史 (2) (オリエント)	地域の文化と歴史 (2) (ヨーロッパ)
地域の文化と歴史 (2) (南アメリカ)	物質文化論 (2)
文化交流史 (2)	対照言語学 (2)
記号論 (2)	意味論 (2)
自然人類学 (2)	政治人類学 (2)
文化人類学フィールドワークI (2)	文化人類学フィールドワークII (2)
考古学フィールドワークI (2)	考古学フィールドワークII (2)
人類文化学特殊講義 (構造と進化) (2)	人類文化学特殊講義 (統語分析) (2)
人類文化学特殊講義 (指示の問題) (2)	人類文化学特殊講義 (文化と象徴) (2)
人類文化学特殊講義 (親族論) (2)	人類文化学特殊講義 (縄紋文化論) (2)
人類文化学特殊講義 (古墳文化論) (2)	人類文化学特殊講義 (中国的世界の形成) (2)

#### IV. 任意選択科目 (20)

人類文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得しなければならない。任意選択科目として認められる科目は以下の通りである。

- (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目
- (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目
- (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目
- (4) 名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(他学部・他学科履修不可科目を除く)  
(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない。)

# 人文学部 人類文化学科

## 人文学部人類文化学科カリキュラム表

### 【人文学部 人類文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 部	必 修		4 単位修得しなければならない。			
			人文学基礎演習Ⅰ(2) 人文学基礎演習Ⅱ(2)			
共 通 科 目	選 択 必 修		6 単位修得しなければならない。 人文学基礎論(哲学者間学入門)、人文学基礎論(文化人類学入門)、人文学基礎論(考古学入門)、人文学基礎論(言語学入門)の中から1または2科目、それ以外の科目から2または1科目を修得すること。 (6単位を超過して修得した単位は、選択科目に算入される。)			
	選 択		10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科	必 修		12単位修得しなければならない。			人類文化学演習Ⅱ 及び研究プロジェクト (8)
	選 択 必 修		6 単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (6単位を超過して修得した単位は、選択科目に算入される。)			
	選 択		38単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
任意選択科目			20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1) 共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (2) 人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (3) 人類文化学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (4) 名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)			
自由科目			「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)			

## 卒業に必要な単位数

人文学部人類文化学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 10

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 人文学部 人類文化学科

※1 ※2

外国語科目：12 外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目：4

英語：4

英語Ⅰ、Ⅱオーラル・コミュニケーションB：各1

英語Ⅰ、Ⅱリーディング：各1

選択必修外国語科目：8

英語：2~4

英語Ⅰ、Ⅱライティング：各1

英語Ⅰ、Ⅱ音声表現：各1

英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合：各1

英語Ⅲ、Ⅳオーラル・コミュニケーションB：各1

英語Ⅲ、Ⅳリーディング：各1

1ないし2カ国語8単位  
(但し、英語は2~4単位、英語以外は1言語4単位以上)を修得。

フランス語：4~8

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

ドイツ語：4~8

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

スペイン語：4~8

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

ポルトガル語：4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読：各1

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文：各1

中国語：4~8

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法：各1

インドネシア語：4

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読：各1

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文：各1

ラテン語：4~8

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法：各1

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読：各1

ギリシャ語：4

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法：各1

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読：各1

学部共通科目 20

必修科目：4

選択必修科目：6

選択科目：10

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学部共通科目のうち、選択必修科目の超過分の単位は選択科目に算入される。

学科科目 56

必修科目：12

選択必修科目：6

選択科目：38

6単位を超過して修得した単位は、選択科目の単位に振り替えることができる。

任意選択科目 20

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目、人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目、人類文化学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目、および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目。  
(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない。)

## 心理人間学科履修要項 ※( )内は単位数

心理人間学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目20単位以上、学科科目56単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。

### I. 共通教育科目 (32)

心理人間学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得しなければならない。

#### 宗教科目 (4)

必修

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 「人間の尊厳」科目 (4)

選択必修

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

#### 外国語科目 (12)

心理人間学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修科目については、1ないし2カ国語8単位(但し、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修

第1年次

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

選択必修

第1年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。  
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

## 人文学部 心理人間学科

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、  
中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

### 体育科目（2）

#### 必修

#### 第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

### テーマ科目（10）

#### 選択必修

#### 第1年次以降

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること（但し、各テーマにつき2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」                      「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」                「モダンの系譜」

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「IV.任意選択科目」の項を参照のこと。

## II. 学部共通科目（20）

心理人間学科学生は、学部共通科目として、必修科目を4単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を10単位以上、合計20単位以上を修得しなければならない。なお、所定の単位数を超過して履修した選択必修科目は、選択科目に算入される。

### 必修科目（4）

#### 第1年次

人文学基礎演習Ⅰ（2） 人文学基礎演習Ⅱ（2）

### 選択必修科目（6）

#### 第1年次以降

次の科目の中から、3科目6単位修得すること。その際、\*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科

目、合計3科目6単位を修得すること。

人文学基礎論 (2) (神学研究入門)	人文学基礎論 (2) (キリスト教文化入門)
人文学基礎論 (2) (哲学人間学入門)	人文学基礎論 (2) (文化人類学入門)
人文学基礎論 (2) (考古学入門)	人文学基礎論 (2) (言語学入門)
*人文学基礎論 (2) (教育科学入門)	*人文学基礎論 (2) (人間関係論入門)
人文学基礎論 (2) (日本文学入門)	人文学基礎論 (2) (日本文学入門)
人文学基礎論 (2) (日本語学入門)	人文学基礎論 (2) (日本語教育入門)

### 選択科目 (10)

#### 第2年次以降

次の科目の中から、5科目10単位以上を修得すること。

日本史概説 (2)	世界史概説 (2)
東洋史概説 (2)	自然地理学概論 (2)
人文地理学概論 (2)	地誌概論 (2)
宗教学概論 (2)	倫理学概論 (2)
哲学概論 (2)	社会学概論 A (2)
社会学概論 B (2)	経済学概論 A (2) (国際経済を含む)
経済学概論 B (2) (国際経済を含む)	政治学概論 (2) (国際政治を含む)
法学概論 (2) (国際法を含む)	視聴覚メディア論 (2)
情報組織化論 (2)	子ども・青年論 (2)
ジェンダー論 (2)	生涯学習論 (2)
現代教育論 (2)	福祉論 (2)

### Ⅲ. 学科科目 (56)

心理人間学科学学生は、必修科目を12単位、選択科目を44単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。

#### 必修科目 (12)

第3年次

心理人間学演習Ⅰ (4)

第4年次

心理人間学演習Ⅱ及び研究プロジェクト (8)

なお、「心理人間学演習Ⅱ及び研究プロジェクト」を  
修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報  
告論文として提出しなければならない。

選択科目 (44)

第2年次以降

人間関係フィールドワークⅠ (6) 人間関係フィールドワークⅡ (6)

人間関係プロセス論 (4) 人間関係プロセス論 (4)  
(グループプロセス) (コミュニケーションプロセス)

心理学実験Ⅰ (2) 心理学実験Ⅱ (2)

人間関係トレーニング (2) 自己開発トレーニング (2)

教育学 A (2) 教育学 B (2)

教育史 (2) 比較教育学 A (2)

比較教育学 B (2) 教育社会学 (2)

教育心理学 A (2) 教育心理学 B (2)

人格心理学 A (2) 人格心理学 B (2)

発達心理学 A (2) 発達心理学 B (2)

教育思想 (2) 教育課程論 (2)

学習心理学 (2) 認知心理学 (2)

社会心理学 (2) 心理教育特殊講義 (2)  
(乳幼児期の発達心理)

心理教育特殊講義 (2) 心理教育特殊講義 (2)  
(児童期の発達心理) (教育制度論)

カウンセリングの対話Ⅰ (3) カウンセリングの対話Ⅱ (3)

ホリスティック生命環境論Ⅰ (3) ホリスティック生命環境論Ⅱ (3)

ボディワークⅠ (3) ボディワークⅡ (3)

人間性教育論Ⅰ (3) 人間性教育論Ⅱ (3)

臨床心理学 (2) 心理検査法 (2)

ホリスティック教育人間学 (3) ゲシュタルトセラピー (3)

人間関係特殊講義 (3) 人間関係特殊講義 (3)  
(自己分析) (アジアセミナー)

## 第3年次以降

- 調査・測定法Ⅰ（2） 調査・測定法Ⅱ（2）  
心理教育統計法Ⅰ（2） 心理教育統計法Ⅱ（2）  
グループアプローチⅠ（3） グループアプローチⅡ（3）

## IV. 任意選択科目（20）

心理人間学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得しなければならない。任意選択科目として認められる科目は以下の通りである。

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目  
人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目

心理人間学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目

名古屋キャンパスの他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）

（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない。）

人文学部心理人間学科カリキュラム表

【人文学部 心理人間学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部	必修	4単位修得しなければならない。				
		人文学基礎演習Ⅰ(2)	人文学基礎演習Ⅱ(2)			
共通科目	選択必修	6単位修得しなければならない。 人文学基礎論(教育科学入門)および人文学基礎論(人間関係論入門)の2科目4単位を必ず含むこと。 (6単位を超過して修得した単位は、選択科目に算入される。)				
	選択	10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
学科科目	必修				12単位修得しなければならない。 心理人間学演習Ⅰ(4) 心理人間学演習Ⅱ及び研究プロジェクト(8)	
	選択	44単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (3)心理人間学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (4)名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

## 卒業に必要な単位数

人文学部心理人間学科

総単位数 128

共通教育科目 32

必修科目 6

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 4

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 10

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 人文学部 心理人間学科

※1 ※2

外国語科目：12 外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目：4

英語：4

英語Ⅰ、Ⅱオーラル・コミュニケーションB 各1

英語Ⅰ、Ⅱリーディング 各1

選択必修外国語科目：8

英語：2~4

英語Ⅰ、Ⅱライティング 各1

英語Ⅰ、Ⅱ音声表現 各1

英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合 各1

英語Ⅲ、Ⅳオーラル・コミュニケーションB 各1

英語Ⅲ、Ⅳリーディング 各1

1ないし2カ国語8単位  
(但し、英語は2~4単位  
英語以外は1言語4単位以上)  
を修得。

フランス語：4~8

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ドイツ語：4~8

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

スペイン語：4~8

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ポルトガル語：4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

中国語：4~8

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1

インドネシア語：4

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

ラテン語：4~8

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法 各1

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読 各1

ギリシャ語：4

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法 各1

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読 各1

学部共通科目 20

必修科目：4

選択必修科目：6

選択科目：10

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学部共通科目のうち、選択必修科目の超過分の単位は選択科目に算入される。

学科科目 56

必修科目：12

選択科目：44

任意選択科目 20

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目、人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目、心理人間学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目、および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない)。

## 日本文化学科履修要項 ※( )内は単位数

日本文化学科学生は、卒業に必要な単位として、共通教育科目32単位以上、学部共通科目20単位以上、学科科目56単位以上、任意選択科目20単位以上を含む、合計128単位以上を修得しなければならない。

### I. 共通教育科目 (32)

日本文化学科学生は、共通教育科目として合計32単位以上を修得しなければならない。

#### 宗教科目 (4)

必修

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 「人間の尊厳」科目 (4)

選択必修

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位以上を修得すること。

#### 外国語科目 (12)

日本文化学科学生は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得すること。

なお、選択必修科目については、1ないし2カ国語8単位(但し、英語以外は1言語4単位以上)を修得すること。

必修

第1年次

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅱリーディング (1)

選択必修

第1年次以降

以下の外国語の中から任意に選択することができる。  
選択必修の単位に算入される外国語の具体的な科目名は「卒業に必要な単位数」を参照のこと。

## 人文学部 日本文化学科

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、  
中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

### 体育科目（2）

#### 必修

##### 第1年次

基礎体育 A（1） 基礎体育 B（1）

### テーマ科目（10）

#### 選択必修

##### 第1年次以降

次のテーマの中から、1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または、2テーマを選択して5科目10単位を修得すること（但し、各テーマにつき2科目以上修得すること）。

「異文化との出会い」                      「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」                「モダンの系譜」

以上のほかに、分野科目、情報科目、インターンシップ科目、必修でない体育科目、所定の単位数を超過して履修した選択必修の共通教育科目は、任意選択科目として卒業に必要な単位に算入される。「IV.任意選択科目」の項を参照のこと。

## II. 学部共通科目（20）

日本文化学科学生は、学部共通科目として、必修科目を4単位、選択必修科目を6単位以上、選択科目を10単位以上、合計20単位以上を修得しなければならない。なお、所定の単位数を超過して履修した選択必修科目は、選択科目に算入される。

### 必修科目（4）

#### 第1年次

人文学基礎演習 I（2） 人文学基礎演習 II（2）

### 選択必修科目（6）

#### 第1年次以降

次の科目の中から3科目6単位修得すること。その際、  
\*印の科目から2科目、それ以外の科目から1科目、

合計3科目6単位を修得すること。

人文学基礎論 (2) (神学研究入門)	人文学基礎論 (2) (キリスト教文化入門)
人文学基礎論 (2) (哲学人間学入門)	人文学基礎論 (2) (文化人類学入門)
人文学基礎論 (2) (考古学入門)	人文学基礎論 (2) (言語学入門)
人文学基礎論 (2) (教育科学入門)	人文学基礎論 (2) (人間関係論入門)
* 人文学基礎論 (2) (日本文学入門)	* 人文学基礎論 (2) (日本文学入門)
* 人文学基礎論 (2) (日本語学入門)	* 人文学基礎論 (2) (日本語教育入門)

### 選択科目 (10)

#### 第2年次以降

次の科目の中から、5科目10単位を修得すること。

日本史概説 (2)	世界史概説 (2)
東洋史概説 (2)	自然地理学概論 (2)
人文地理学概論 (2)	地誌概論 (2)
宗教学概論 (2)	倫理学概論 (2)
哲学概論 (2)	社会学概論 A (2)
社会学概論 B (2)	経済学概論 A (2) (国際経済を含む)
経済学概論 B (2) (国際経済を含む)	政治学概論 (2) (国際政治を含む)
法学概論 (2) (国際法を含む)	視聴覚メディア論 (2)
情報組織化論 (2)	子ども・青年論 (2)
ジェンダー論 (2)	生涯学習論 (2)
現代教育論 (2)	福祉論 (2)

### Ⅲ. 学科科目 (56)

日本文学科学学生は、必修科目を12単位、選択科目を44単位以上、合計56単位以上を修得しなければならない。

#### 必修科目 (12)

第3年次

日本文化学演習Ⅰ (4)

第4年次

日本文化学演習Ⅱおよび研究プロジェクト (8)

なお、「日本文化学演習Ⅱ及び研究プロジェクト」を  
修得するためには、研究プロジェクトの成果を研究報  
告論文として提出しなければならない。

選択科目 (44)

次の科目の中から44単位を修得すること。

第2年次

身体とことば (4)    デイベート (2)

文章表現法 (2)

第2年次以降

日本文学史概説 (2)    日本文化史概説 (2)

日本文化史A (2)    日本文化史B (2)

日本文化史C (2)    日本芸能史 (2)

日本思想史 (2)    日本美術史A (2)

日本美術史B (2)    英文による日本文学研究 (2)

物語系文学研究 (2)    中世文学研究 (2)

近代文学研究 (2)    唐宋文学研究 (2)

和歌文学研究 (2)    源氏物語研究 (2)

漢文日記講読 (2)    文学と歴史 (2)

近代小説研究 (2)    近代女性作家研究 (2)

漢文学Ⅰ (2)    漢文学Ⅱ (2)

漢文学研究Ⅰ (2)    漢文学研究Ⅱ (2)

日本語史Ⅰ (2)    日本語史Ⅱ (2)

現代日本語の構造A (2)    現代日本語の構造B (2)

言語分析A (2)    言語分析B (2)

英文による日本文法研究 (2)    社会言語学 (2)

日本語音韻論 (2)    コンピュータと言語学 (2)

キリシタン語学 (2)    日本語研究史 (2)

生成文法と日本語 (2)    日本語教授法Ⅰ (2)

日本語教授法Ⅱ (2)    日本語の教育と学習 (2)

第二言語習得研究 (2)    日本語教育教材研究 (2)

日本語教育文法 (2)    初中級の日本語教育 (2)

日本語の会話教育 (2) 日本語の音声教育 (2)

日本語能力評価法 (2)

第4年次

日本語教育実地研究 (2)

IV. 任意選択科目 (20)

日本文化学科学生は、任意選択科目として20単位以上を修得しなければならない。任意選択科目として認められる科目は以下の通りである。

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目  
人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目

日本文化学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目

名古屋キャンパスの他学部・他学科科目（他学部・他学科履修不可科目を除く）

（なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない。）

人文学部日本文化学科カリキュラム表

【人文学部 日本文化学科】

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		32単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学 部	必 修	4単位修得しなければならない。				
		人文学基礎演習Ⅰ(2)				
共 通	選 択 必 修	6単位修得しなければならない。 人文学基礎論(日本文学入門)、人文学基礎論(日本文学入門)、人文学基礎論(日本語学入門)、人文学基礎論(日本語教育入門)の中から2科目、それ以外の科目から1科目を修得すること。 (6単位を超過して修得した単位は、選択科目に算入される。)				
		科 目	10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
学 科	必 修				12単位修得しなければならない。	
					日本文学演習Ⅰ(4)	日本文学演習Ⅱ及び研究プロジェクト(8)
科 目	選 択	44単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。 (1)共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (2)人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (3)日本文化学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目 (4)名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」は含まれない)				
自由科目		「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

## 卒業に必要な単位数

人文学部日本文化学科

総単位数 **128**共通教育科目 **32**必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 人文学部 日本文学学科

※1 ※2

外国語科目：12 外国語科目は、2カ国語以上にわたって、各言語4単位以上を修得。

必修外国語科目：4

英語：4

英語Ⅰ、Ⅱオラル・コミュニケーションB：各1

英語Ⅰ、Ⅱリーディング：各1

選択必修外国語科目：8

英語：2~4

英語Ⅰ、Ⅱライティング：各1

英語Ⅰ、Ⅱ音声表現：各1

英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ総合：各1

英語Ⅲ、Ⅳオラル・コミュニケーションB：各1

英語Ⅲ、Ⅳリーディング：各1

1ないし2カ国語8単位  
(但し、英語は2~4単位、  
英語以外は1言語4単位以上)  
を修得。

フランス語：4~8

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

ドイツ語：4~8

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

スペイン語：4~8

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読：各1

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

ポルトガル語：4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読：各1

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文：各1

中国語：4~8

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文：各1

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法：各1

インドネシア語：4

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読：各1

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文：各1

ラテン語：4~8

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法：各1

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読：各1

ギリシャ語：4

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法：各1

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読：各1

学部共通科目 20

必修科目：4

選択必修科目：6

選択科目：10

履修方法については、学科の履修要項を参照のこと。なお、学部共通科目のうち、選択必修科目の超過分の単位は選択科目に算入される。

学科科目 56

必修科目：12

選択科目：44

任意選択科目 20

共通教育科目で所定の単位数を超過して履修した科目、人文学部共通科目で所定の単位数を超過して履修した科目、日本文学学科科目で所定の単位数を超過して履修した科目、および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(なお、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は含まれない)。

# 外国語学部

## 外国語学部履修要項

[2000年度以降に入学した学生に適用]

1. 外国語学部学生は、卒業のためには「共通教育科目」、「学科科目」、「外国語学部共通基礎科目」、「外国語学部共通専門科目」、「任意選択科目」を履修して128単位以上を修得しなければならない。
2. 共通教育科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目からなる。この履修方法については別に定める。（「共通教育科目履修要項」および「各学科履修要項」を参照のこと。）
3. 外国語学部学生は、外国語学部共通基礎科目を8単位以上、また外国語学部共通専門科目を10単位以上修得しなければならない。
4. 外国語学部学生は各自の所属する学科の必修科目、選択科目を、それぞれ所定の単位数修得しなければならない。この履修方法については別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
5. 外国語学部学生は、下記の科目を任意選択科目として卒業に必要な単位に算入できる。算入できる単位数は別に定める。（「各学科履修要項」を参照のこと。）
  - (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、所属する学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
  - (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
  - (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。
6. 外国語学部学生は「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」、「司書・司書教諭に関する科目」および「瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目」を自由科目として履修することができる。但し、自由科目は卒業に必要な単位数には算入されない。
7. 外国語学部学生が1学期に履修登録を許される総単位数は

自由科目を除き、22単位以内とする。なお、通年科目については、その単位数の2分の1ずつを各学期に含めるものとする。

8. 本学に設置していない科目を、留学先大学で修得した場合、教育上適切と認められれば、任意選択科目として認定することがある。
9. 特に必修外国語の能力があると認定された学生については、学生本人の申請に基づいて必修外国語科目（学科科目を含む）の履修を免除することがある。なお、この場合、免除された外国語科目と同じ単位数の科目（自由科目を除く）を履修しなければならない。  
また、この場合、指定年次に達していない場合でも、免除された外国語科目の上級年次の外国語科目の履修を認めることがある。
10. 外国語学部学生は「演習Ⅱ」の単位を修得するには卒業論文を提出しなければならない。
11. 欠席時数が授業科目の授業予定時数の3分の1を超えた場合、当該授業科目の成績は原則として「欠席過多(S)」による不合格とする。

## 英米学科履修要項

### I. 共通教育科目 (36)

#### 必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

##### 第1年次

宗 教 論 (2)      基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

##### 第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 選択必修科目 (14)

##### 第1年次以降

「異文化との出会い」「生命と環境」「知識・言語と情

報社会」もしくは「モダンの系譜」の中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

#### 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を履修すること。  
 ☆テーマ科目、人間の尊厳科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること。

### 外国語科目 (16)

#### 必修外国語科目 (8)

下記の4科目計8単位を第1年次に履修すること。

英語ⅠオーラルコミュニケーションA (3)      英語ⅡオーラルコミュニケーションA (3)

英語Ⅰリーディング (1)      英語Ⅱリーディング (1)

#### 選択必修外国語科目 (8)

次の外国語の中から、1ないし2言語8単位(但し1言語は4単位以上)を履修すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語

外国語科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること。

## II. 外国語学部共通科目 (18)

### 学部共通基礎科目 (8)

下記の科目の中から4科目計8単位を第2年次に履修すること。

#### 選択必修科目

##### 第2年次

言語研究の基礎 (2)      言語研究の基礎 (2)  
 (言葉の機能)                      (文法論)

言語研究の基礎 (2)      文学研究の基礎 (2)  
 (形態論)                              (小説)A

文学研究の基礎 (2)      文学研究の基礎 (2)  
 (小説)B                                  (詩)

文学研究の基礎 (2)      外国語教育の基礎 (2)  
 (演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

### 学部共通専門科目 (10)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

#### 第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

### III. 学科科目

#### 必修科目 (32)

下記の17科目計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第1年次

アメリカの文化Ⅰ (2)	アメリカの文化Ⅱ (2)
Writing in EnglishⅠ (2)	Writing in EnglishⅡ (2)
English WorkshopⅠ (1)	English WorkshopⅡ (1)

第2年次

Writing in EnglishⅢ (1)	Writing in EnglishⅣ (1)
English WorkshopⅢ (1)	English WorkshopⅣ (1)
Communication in EnglishⅠ (3)	Communication in EnglishⅡ (3)
Reading in EnglishⅠ (1)	Reading in EnglishⅡ (1)

第3年次

演習Ⅰ (4)	英語論文作成法 (2)
---------	-------------

第4年次

演習Ⅱ (4)	
---------	--

選択科目 (20)

下記の科目の中から計20単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第3・4年次

政治とコミュニケーション (2)	人間関係とコミュニケーション (2)
コミュニケーション特殊研究 (2)	英語教育特殊研究 (2)
英語の構造Ⅰ (2)	英語の構造Ⅱ (2)
英文法論Ⅰ (2)	英文法論Ⅱ (2)
英語音声学Ⅰ (2)	英語音声学Ⅱ (2)
英語学特殊研究 (2)	イギリス文学史Ⅰ (2)
イギリス文学史Ⅱ (2)	アメリカ文学史Ⅰ (2)
アメリカ文学史Ⅱ (2)	英米の小説 (2)
英米の詩 (2)	英米の演劇 (2)
英米文学特殊研究 (小説) (2)	英米文学特殊研究 (詩) (2)
英米文学特殊研究 (演劇) (2)	作家作品研究 (アメリカ文学) (2)
作家作品研究 (イギリス文学) (2)	アメリカの歴史 (2)
アメリカ史特殊研究 (2)	アメリカの政治 (2)
アメリカ政治特殊研究 (2)	アメリカの社会 (2)

アメリカ社会特殊研究 (2)	アメリカの外交 (2)
アメリカ外交特殊研究 (2)	アメリカの経済 (2)
アメリカ経済特殊研究 (2)	日米関係論 (2)
英米の思想 (2)	基礎英語通訳法 (2)
上級英語通訳法 (2)	マスメディアの英語 (2)
英語プレゼンテーション (2)	英語翻訳法 (2)
ビジネス・コミュニケーション (2)	クリエイティブライティング (2)

#### IV. 任意選択科目 (22)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計22単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

## スペイン・ラテンアメリカ学科履修要項

### I. 共通教育科目 (34)

#### 必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

宗 教 論 (2)      基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

#### 第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 選択必修科目 (14)

#### 第1年次以降

「異文化との出会い」「生命と環境」「知識・言語と情報社会」もしくは「モダンの系譜」の中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

#### 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を履修すること。  
☆テーマ科目、人間の尊厳科目の詳細は共通教育科目履修要項を参照すること。

### 外国語科目 (14)

#### 必修外国語科目

下記の12科目計14単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次 (12)

基礎スペイン語Ⅰ文法 (2)	基礎スペイン語Ⅰ講読 (1)
基礎スペイン語Ⅰ作文 (1)	基礎スペイン語Ⅱ文法 (2)
基礎スペイン語Ⅱ講読 (1)	基礎スペイン語Ⅱ作文 (1)
英語Ⅰオーラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅱオーラル・コミュニケーションB (1)
英語Ⅰリーディング (1)	英語Ⅱリーディング (1)

#### 第2年次 (2)

英語Ⅲオーラル・コミュニケーションB (1)	英語Ⅳオーラル・コミュニケーションB (1)
------------------------	------------------------

外国語科目については共通教育科目履修要項を参照すること。

## Ⅱ. 外国語学部共通科目 (18)

### 学部共通基礎科目 (8)

下記の科目の中から4科目計8単位を第2年次に履修すること。

#### 選択必修科目

#### 第2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説)A

文学研究の基礎 (2) (小説) B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

## 学部共通専門科目 (10)

### 選択必修科目

下記の科目の中から 5 科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

#### 第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

## Ⅲ. 学科科目 (52)

## 必修科目 (26)

下記の18科目計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

## 第1年次

スペインの文化 (2)	スペイン語 I 会話 1 (1)
スペイン語 I 会話 2 (1)	ラテンアメリカの文化 (2)
スペイン語 II 会話 1 (1)	スペイン語 II 会話 2 (1)

## 第2年次

スペイン語 III 会話 1 (1)	スペイン語 III 会話 2 (1)
スペイン語 I 作文 (1)	スペイン語 I 講読 (1)
スペイン語 I 文法 (1)	スペイン語 IV 会話 1 (1)
スペイン語 IV 会話 2 (1)	スペイン語 II 作文 (1)
スペイン語 II 講読 (1)	スペイン語 II 文法 (1)

## 第3年次

演 習 I (4)

## 第4年次

演 習 II (4)

## 選択科目 (26)

下記の科目の中から計26単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

## 第3年次

スペイン語 III 作文 (1)	スペイン語 V 会話 (1)
スペイン語 III 講読 (1)	スペイン語 IV 作文 (1)
スペイン語 VI 会話 (1)	スペイン語 IV 講読 (1)

## 第3・4年次

ス ペ イ ン 史 (2)	ラテンアメリカ史 A (2)
ラテンアメリカ史 B (2)	ス ペ イ ン 文 学 A (2)
ス ペ イ ン 文 学 B (2)	ラテンアメリカ文学 A (2)
ラテンアメリカ文学 B (2)	ス ペ イ ン 思 想 史 (2)
ラテンアメリカの政治 (2)	ラテンアメリカ経済史 (2)
ラテンアメリカの経済 (2)	ラテンアメリカの経済政策 (2)
スペイン語表現法 I (2)	スペイン語表現法 II (2)

ポルトガル語比較文法 (2)	ブラジル・ポルトガル文化研究 (2)
スペイン特殊研究 (2)	ラテンアメリカ特殊研究 (2)
スペイン語学特殊研究 (2)	ス ペ イ ン 法 (2)
スペイン文学特殊研究A (2)	スペイン文学特殊研究B (2)
ポルトガル語研究 I (2)	ポルトガル語研究 II (2)
第4年次	
スペイン語V講読 (1)	スペイン語VI講読 (1)

#### IV. 任意選択科目 (24)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から計24単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

## フランス学科履修要項

### I. 共通教育科目 (34)

#### 必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

宗 教 論 (2)      基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

#### 第2年次

キリスト教概論 (2)

## 選択必修科目 (14)

### 第1年次以降

「異文化との出会い」「生命と環境」「知識・言語と情報社会」もしくは「モダンの系譜」の中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

### 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を履修すること。  
☆テーマ科目、人間の尊厳科目の詳細は共通教育科目履修要項を参照すること。

## 外国語科目 (14)

### 必修外国語科目 1 (8)

下記の8科目計8単位を第1年次に履修すること。

#### 第1年次

基礎フランス語 I A (1)      基礎フランス語 II A (1)

基礎フランス語 I B (1)      基礎フランス語 II B (1)

基礎フランス語 I C (1)      基礎フランス語 II C (1)

基礎フランス語 I D (1)      基礎フランス語 II D (1)

### 必修外国語科目 2 (6)

下記の6科目計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

英語 I オーラル・コミュニケーション B (1)      英語 II オーラル・コミュニケーション B (1)

英語 I リーディング (1)      英語 II リーディング (1)

#### 第2年次

英語 III オーラル・コミュニケーション B (1)      英語 IV オーラル・コミュニケーション B (1)

外国語科目については共通教育科目履修要項を参照すること。

## II. 外国語学部共通科目 (18)

### 学部共通基礎科目 (8)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第2年次に履修す

ること。

### 第2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説) A
文学研究の基礎 (2) (小説) B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)
思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

### 学部共通専門科目 (10)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

#### 第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)

文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

### Ⅲ. 学科科目 (52)

#### 必修科目 (30)

下記の20科目計30単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次 (8)

フランスの文化と社会Ⅰ (2)	フランスの文化と社会Ⅱ (2)
総合フランス語Ⅰ文法 (1)	総合フランス語Ⅱ文法 (1)
総合フランス語Ⅰコミュニケーション (1)	総合フランス語Ⅱコミュニケーション (1)

#### 第2年次 (14)

フランスの文化と社会Ⅲ (2)	論文作成法 (2)
総合フランス語Ⅲ文法 (1)	総合フランス語Ⅳ文法 (1)
総合フランス語ⅢコミュニケーションA (1)	総合フランス語ⅣコミュニケーションA (1)
総合フランス語ⅢコミュニケーションB (1)	総合フランス語ⅣコミュニケーションB (1)
総合フランス語ⅢコミュニケーションC (1)	総合フランス語ⅣコミュニケーションC (1)
中級フランス語講読AⅠ (1)	中級フランス語講読AⅡ (1)

#### 第3年次

演習Ⅰ (4)

#### 第4年次

演習Ⅱ (4)

#### 選択科目 (22)

下記の科目の中から計22単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第2年次

中級フランス語講読BⅠ (1) 中級フランス語講読BⅡ (1)

#### 第3年次

上級フランス語Ⅰ会話 (1) 上級フランス語Ⅱ会話 (1)

上級フランス語Ⅰ作文 (1) 上級フランス語Ⅱ作文 (1)

### 第3年次以降

フランス語表現法 (2)	フランス語翻訳法 (2)
フランス文法論 (2)	フランス語学 (2)
フランス文学講読 (2)	フランス文学研究 (2)
フランス文学史 (2)	フランスの社会と文学 (2)
フランス精神 (2)	フランスの歴史 (2)
フランスの文化 (2)	フランスの政治 (2)
フランスの思想 (2)	フランスの法制 (2)
フランスの外交 (2)	フランスの社会 (2)
日仏交流史 (2)	文献講読 (2)
時事フランス語 (2)	

### 第4年次

上級フランス語Ⅲ会話 (1) 上級フランス語Ⅳ会話 (1)

(注) 一年次のフランス語科目(基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ A、B、C、Dおよび総合フランス語Ⅰ・Ⅱ文法、コミュニケーション)の全科目の単位を完全に取得していない場合には、3、4年次の学科科目を登録することができない。

## IV. 任意選択科目 (24)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から24単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

## ドイツ学科履修要項

### I. 共通教育科目 (34)

#### 必修科目 (20)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 宗教科目 (4)

##### 第1年次

宗 教 論 (2)

##### 第2年次

キリスト教概論 (2)

#### 体育科目 (2)

##### 第1年次

基 礎 体 育 A (1)      基 礎 体 育 B (1)

#### 選択必修科目 (14)

##### 第1年次以降

「異文化との出会い」「生命と環境」「知識、言語と情報社会」もしくは「モダンの系譜」の中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

##### 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を履修すること。  
☆テーマ科目、人間の尊厳科目の詳細は共通教育科目履修要項を参照すること。

### 外国語科目 (14)

#### 必修外国語科目 1 (8)

下記の6科目計8単位を第1年次に履修すること。

##### 第1年次

基礎ドイツ語 I 文法 (1)      基礎ドイツ語 II 文法 (1)

基礎ドイツ語 I コミュニケーション (2)      基礎ドイツ語 II コミュニケーション (2)

基礎ドイツ語 I 講読 (1)      基礎ドイツ語 II 講読 (1)

#### 必修外国語科目 2 (6)

下記の6科目計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

### 第1年次

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1)      英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1)      英語Ⅱリーディング (1)

### 第2年次

英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1)      英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)

外国語科目については共通教育科目履修要項を参照すること。

## II. 学部共通科目 (18)

### 学部共通基礎科目 (8)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第2年次に履修すること。

### 第2年次

言語研究の基礎 (2)      言語研究の基礎 (2)  
(言葉の機能)      (文法論)

言語研究の基礎 (2)      文学研究の基礎 (2)  
(形態論)      (小説) A

文学研究の基礎 (2)      文学研究の基礎 (2)  
(小説) B      (詩)

文学研究の基礎 (2)      外国語教育の基礎 (2)  
(演劇)

コミュニケーション研究の基礎 (2)      コミュニケーション研究の基礎 (2)  
(人文的アプローチ)      (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2)      政治研究の基礎 (2)  
      (アメリカ)

政治研究の基礎 (2)      社会学研究の基礎 (2)  
(ドイツ)      (アメリカ)

社会学研究の基礎 (2)      国際関係論の基礎 (2)  
(アジア)      (日本とアメリカ)

国際関係論の基礎 (2)      国際関係論の基礎 (2)  
(日本とアジア)      (日本と中南米)

歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

### 学部共通専門科目 (10)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

#### 第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

### Ⅲ. 学科科目 (52)

#### 必修科目 (28)

下記の17科目計28単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

ドイツの文化と社会Ⅰ (2)	ドイツの文化と社会Ⅱ (2)
ドイツ語作文Ⅰ (1)	ドイツ語作文Ⅱ (1)
ドイツ語講読Ⅰ (1)	ドイツ語講読Ⅱ (1)

#### 第2年次

論文作成法 (2)	ドイツ語作文Ⅲ (1)
ドイツ語作文Ⅳ (1)	ドイツ語講読Ⅲ (1)
ドイツ語講読Ⅳ (1)	ドイツ語文法Ⅰ (1)
ドイツ語文法Ⅱ (1)	ドイツ語コミュニケーションⅠ (2)
ドイツ語コミュニケーションⅡ (2)	

第3年次		
演習	I	(4)
第4年次		
演習	II	(4)

#### 選択科目 (24)

下記の科目の中から計24単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

##### 第1年次以降

ドイツ語演劇研究A (2)      ドイツ語演劇研究B (2)

##### 第2年次

中級ドイツ語講読I (1)      中級ドイツ語講読II (1)

##### 第2年次以降

ドイツ史A (2)      ドイツ史B (2)

ドイツ文学史A (2)      ドイツ文学史B (2)

ドイツ哲学史A (2)      ドイツ哲学史B (2)

##### 第3年次以降

上級ドイツ語講読I (1)      上級ドイツ語講読II (1)

上級ドイツ語会話I (1)      上級ドイツ語会話II (1)

上級ドイツ語作文I (1)      上級ドイツ語作文II (1)

作品講読 (2)      文献講読 (2)

時事ドイツ語 (2)      ビジネス・経済ドイツ語I (2)

ビジネス・経済ドイツ語II (2)      ドイツの社会と文学 (2)

ドイツの思想と文化 (2)      ドイツの経済 (2)

ドイツの政治と社会 (2)      ドイツの法制 (2)

ドイツの外交 (2)      ドイツ文学研究 (2)

ドイツ語学研究 (2)      ドイツ史研究 (2)

ドイツ経済研究 (2)      ドイツ政治研究 (2)

(注) 一年次のドイツ語科目(基礎ドイツ語I・II、文法・コミュニケーション・講読、およびドイツ語作文I・II、ドイツ語講読I・II)の全科目の単位を完全に取得していない場合には、演習Iを登録することはできない。

## IV. 任意選択科目 (24)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から24単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目、（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

## アジア学科履修要項

## I. 共通教育科目 (38)

## 必修科目 (6)

下記の4科目、計6単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

## 第1年次

宗 教 論 (2) 基礎体育 A (1)

基礎体育 B (1)

## 第2年次

キリスト教概論 (2)

## 選択必修科目 (14)

## 第1年次以降

「異文化との出会い」「生命と環境」「知識・言語と情報社会」もしくは「モダンの系譜」の中から1テーマを選択しその中で5科目以上履修するか、又は2テーマを選択する場合は、1テーマから2科目以上履修し、計5科目以上履修すること。

## 第2年次以降

「人間の尊厳」科目から2科目4単位を履修すること。  
☆テーマ科目、人間の尊厳科目の詳細は共通教育科目

履修要項を参照すること。

### 必修外国語科目 (18)

下記の18科目計18単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

中国語Ⅰ会話・作文 (1)	中国語Ⅱ会話・作文 (1)
中国語Ⅰ語法 (1)	中国語Ⅱ語法 (1)
インドネシア語Ⅰ会話・作文 (1)	インドネシア語Ⅱ会話・作文 (1)
インドネシア語Ⅰ文法・講読 (1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読 (1)
英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1)	英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

#### 第2年次

中国語Ⅲ会話・作文 (1)	中国語Ⅳ会話・作文 (1)
中国語Ⅲ語法 (1)	中国語Ⅳ語法 (1)
英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1)	英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)
英語Ⅰリーディング (1)	英語Ⅱリーディング (1)

外国語科目については共通教育科目履修要項を参照すること。

## Ⅱ. 外国語学部共通科目 (18)

### 学部共通基礎科目 (8)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から4科目計8単位を第2年次に履修すること。

#### 第2年次

言語研究の基礎 (2) (言葉の機能)	言語研究の基礎 (2) (文法論)
言語研究の基礎 (2) (形態論)	文学研究の基礎 (2) (小説) A
文学研究の基礎 (2) (小説) B	文学研究の基礎 (2) (詩)
文学研究の基礎 (2) (演劇)	外国語教育の基礎 (2)
コミュニケーション研究の基礎 (2) (人文的アプローチ)	コミュニケーション研究の基礎 (2) (社会心理的アプローチ)

思想研究の基礎 (2)	政治研究の基礎 (2) (アメリカ)
政治研究の基礎 (2) (ドイツ)	社会学研究の基礎 (2) (アメリカ)
社会学研究の基礎 (2) (アジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本とアメリカ)
国際関係論の基礎 (2) (日本とアジア)	国際関係論の基礎 (2) (日本と中南米)
歴史研究の基礎 (2) (アメリカ)	歴史研究の基礎 (2) (スペイン)
歴史研究の基礎 (2) (ドイツ)	経済研究の基礎 (2) (ミクロ経済学)
経済研究の基礎 (2) (マクロ経済学)	

### 学部共通専門科目 (10)

#### 選択必修科目

下記の科目の中から5科目計10単位を第3年次以降に履修すること。

#### 第3年次以降

対照言語学 (2)	心理言語学 (2)
外国語教育論 (2)	第二言語習得論 (2)
異文化コミュニケーション論 (2)	文学理論 (2)
文学と社会 (2)	比較文化論 (2)
第三世界論 (2)	南北アメリカ論 (2)
国際関係論 (2)	国際経済学 (2)
開発経済学 (2)	比較社会論 (2)
国際企業論 (2)	

### Ⅲ. 学科科目

#### 必修科目 (18)

下記の10科目計18単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

#### 第1年次

アジア入門演習A (2)      アジア入門演習B (2)

中国語Ⅰ発音・聴力 (1)      中国語Ⅱ発音・聴力 (1)

第2年次

中国語Ⅰ読解 (1)      中国語Ⅱ読解 (1)

インドネシア語Ⅰコミュニケーション (1)      インドネシア語Ⅱコミュニケーション (1)

第3年次

演習Ⅰ (4)

第4年次

演習Ⅱ (4)

選択科目 (32)

下記の科目の中から計32単位をそれぞれの指定年次に履修すること。

第2年次

インドネシア語Ⅰ読解 (1)      インドネシア語Ⅱ読解 (1)

中国圏の文化と社会 (2)      イスラム圏の文化と社会 (2)

第3年次

中国語Ⅲ読解 (1)      中国語Ⅳ読解 (1)

中国語時事会話Ⅰ (1)      中国語時事会話Ⅱ (1)

インドネシア語Ⅲ読解 (1)      インドネシア語Ⅳ読解 (1)

インドネシア語時事会話Ⅰ (1)      インドネシア語時事会話Ⅱ (1)

第3年次以降

中国語上級会話 (1)      インドネシア語上級会話 (1)

韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰ (2)      韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ (2)

タイの言語と文化Ⅰ (2)      タイの言語と文化Ⅱ (2)

中国語学研究 (2)      中国古典文学研究 (2)

中国現代文学研究 (2)      中国古代史研究 (2)

中国近現代史研究 (2)      インドネシア文学研究 (2)

タイ文化研究 (2)      インドネシア文化研究 (2)

ベトナム文化研究 (2)      中国社会研究 (2)

中国経済研究 (2)      イスラム社会研究 (2)

インドネシア社会研究 (2)      ベトナム社会研究 (2)

フィリピン社会研究 (2)      華人社会研究 (2)

華人経済研究 (2)      東アジア外交研究 (2)

Ⅳ. 任意選択科目 (22)

下記の(1)～(3)に該当する科目の中から22単位を履修すること。

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目うち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目（他学科履修不可の科目を除く）。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目、（他学部履修不可の科目を除く）。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部英米学科カリキュラム表

【外国語学部 英米学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		36単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部共通科目	選択	学部共通基礎科目	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	必修	学部共通専門科目			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 目	必修	32単位修得しなければならない。				
		アメリカの文化Ⅰ(2) アメリカの文化Ⅱ(2) Writing in EnglishⅠ(2) Writing in EnglishⅡ(2) English WorkshopⅠ(1) English WorkshopⅡ(1)	Writing in EnglishⅢ(1) Writing in EnglishⅣ(1) English WorkshopⅢ(1) English WorkshopⅣ(1) Communication in EnglishⅠ(3) Communication in EnglishⅡ(3) Reading in EnglishⅠ(1) Reading in EnglishⅡ(1)	演習Ⅰ(4) 英語論文作成法(2)	演習Ⅱ(4)	
	選択	20単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		22単位を限度として、卒業に必要な単位に算入することができる (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。 (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目 瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目 (いずれも卒業に必要な単位には算入されない。)				

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

外国語学部英米学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **36**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 外国語学部 英米学科

※1 ※2

外国語科目 16

必修外国語科目 8

英語 8

英語Ⅰ、Ⅱ オールコミュニケーション A 各3  
英語Ⅰ、Ⅱ リーディング 各1

選択必修外国語科目 8

フランス語

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ドイツ語

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

スペイン語

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ポルトガル語

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1  
ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

中国語

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1  
中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1

インドネシア語

インドネシア語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1  
インドネシア語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

ラテン語

ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法 各1  
ラテン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ講読 各1

ギリシャ語

ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ文法 各1  
ギリシャ語Ⅰ、Ⅱ講読 各1

1. 選択必修外国語科目の中から1ないし2言語8単位(但し1言語は4単位以上)を修得

学部共通科目 18

学部共通基礎科目 8

学部共通専門科目 10

学科科目 52

必修科目 32

選択科目 20

任意選択科目 22

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、英米学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科カリキュラム表

【外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択	学部共通 基礎科目	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	必 修	学部共通 専門科目			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 必 修 科 目	必 修	26単位修得しなければならない。				
		スペインの文化(2) スペイン語Ⅰ会話1(1) スペイン語Ⅰ会話2(1) ラテンアメリカの文化(2) スペイン語Ⅱ会話1(1) スペイン語Ⅱ会話2(1)	スペイン語Ⅲ会話1(1) スペイン語Ⅲ会話2(1) スペイン語Ⅰ作文(1) スペイン語Ⅰ講読(1) スペイン語Ⅰ文法(1) スペイン語Ⅳ会話1(1) スペイン語Ⅳ会話2(1) スペイン語Ⅱ作文(1) スペイン語Ⅱ講読(1) スペイン語Ⅱ文法(1)	演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)	
目	選 択	26単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		24単位修得しなければならない。 (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。 (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目 瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目 (卒業に必要な単位には算入されない)。				

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

外国語学部スペイン・ラテンアメリカ学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2(2~4年次)

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
-----  
各4(1~4年次)

体育科目

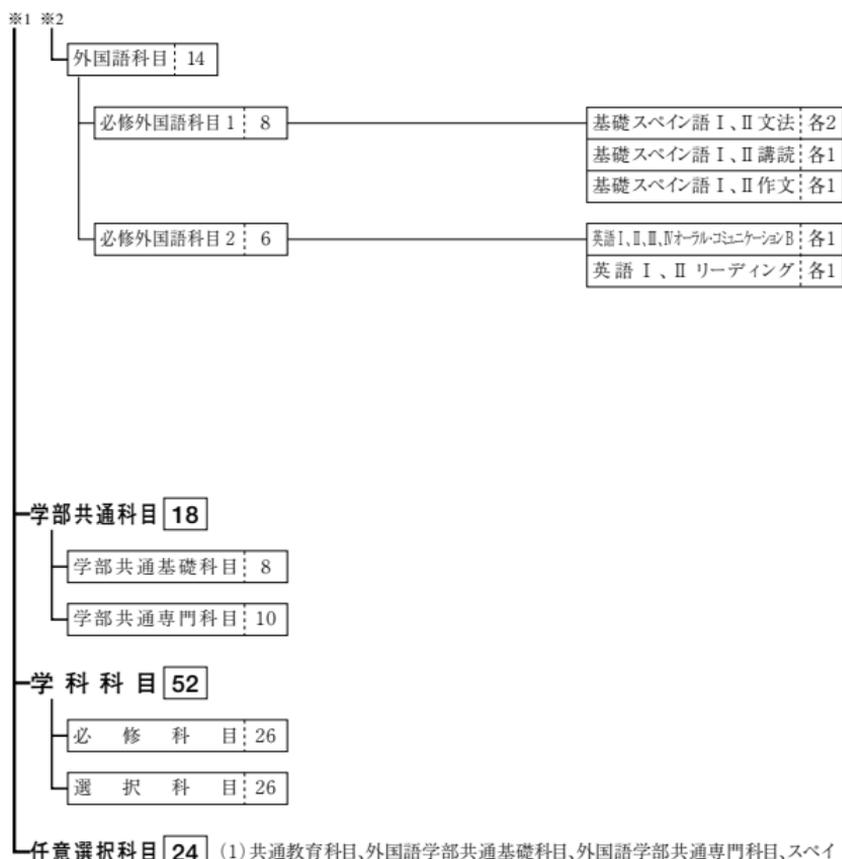
スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー: 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)



- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、スペイン・ラテンアメリカ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

# 外国語学部 フランス学科

## 外国語学部フランス学科カリキュラム表

### 【外国語学部 フランス学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学部共通科目	選択	学部共通基礎科目		8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。		
	必修	学部共通専門科目			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 必 修 目			30単位修得しなければならない。			
			フランスの文化と社会Ⅰ(2) フランスの文化と社会Ⅱ(2) 総合フランス語Ⅰ文法(1) 総合フランス語Ⅱ文法(1) 総合フランス語Ⅰ コミュニケーション(1) 総合フランス語Ⅱ コミュニケーション(1)	フランスの文化と社会Ⅲ(2) 論文作成法(2) 総合フランス語Ⅲ文法(1) 総合フランス語Ⅳ文法(1) 総合フランス語Ⅲ コミュニケーションA(1) 総合フランス語Ⅳ コミュニケーションA(1) 総合フランス語Ⅲ コミュニケーションB(1) 総合フランス語Ⅳ コミュニケーションB(1) 総合フランス語Ⅲ コミュニケーションC(1) 総合フランス語Ⅳ コミュニケーションC(1) 中級フランス語講読AⅠ(1) 中級フランス語講読AⅡ(1)	演習Ⅰ(4)	演習Ⅱ(4)
		選択		22単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。		
任意選択科目			24単位修得しなければならない (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、フランス学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。 (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。			
自由科目			教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目 瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目 (卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

外国語学部フランス学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

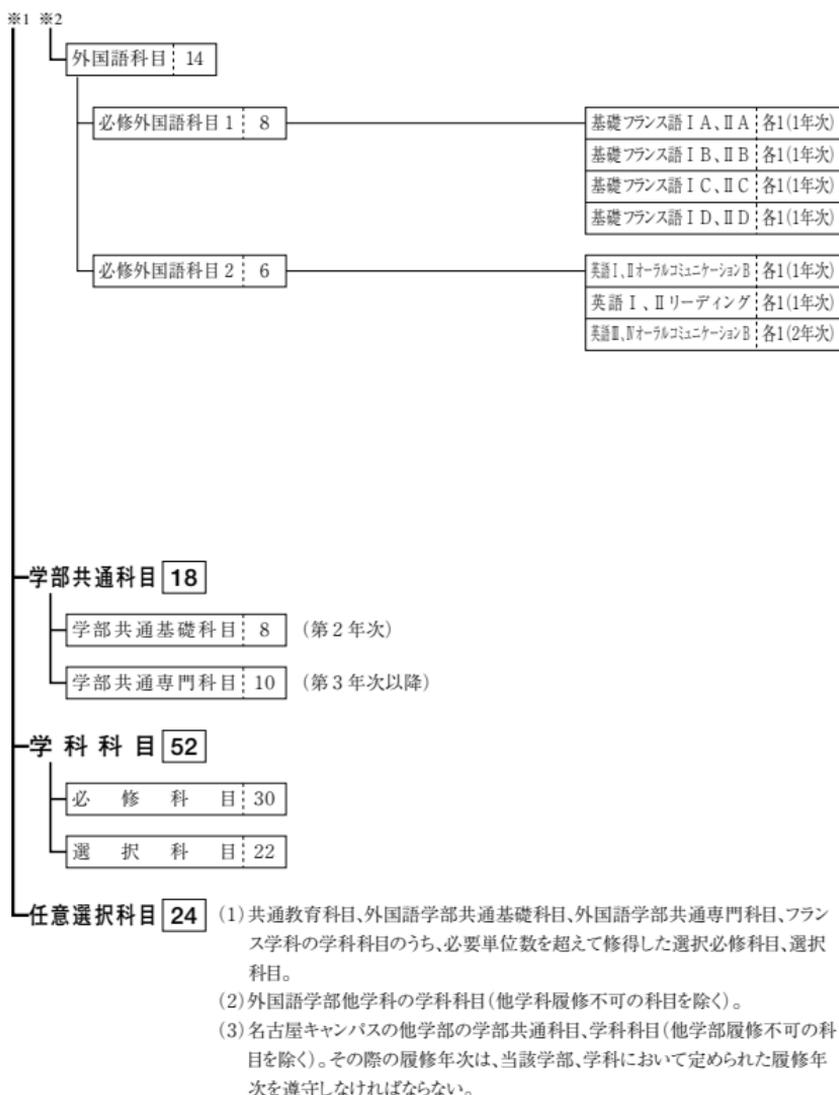
情報科目

情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

# 外国語学部 フランス学科



外国語学部ドイツ学科カリキュラム表

【外国語学部ドイツ学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		34単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部 共通 科目	選 択	学部共通 基礎科目	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	必 修	学部共通 専門科目			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学 科 必 修 目	必 修	28単位修得しなければならない。 ドイツの文化と社会Ⅰ(2) 論文作成法(2) 演習Ⅰ(4) 演習Ⅱ(4) ドイツの文化と社会Ⅱ(2) ドイツ語作文Ⅲ(1) ドイツ語作文Ⅳ(1) ドイツ語作文Ⅰ(1) ドイツ語作文Ⅱ(1) ドイツ語講読Ⅲ(1) ドイツ語講読Ⅳ(1) ドイツ語講読Ⅰ(1) ドイツ語講読Ⅱ(1) ドイツ語文法Ⅰ(1) ドイツ語文法Ⅱ(1) ドイツ語 コミュニケーションⅠ(2) ドイツ語 コミュニケーションⅡ(2)				
	選 択	24単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		24単位修得しなければならない (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。 (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目 瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目 (卒業に必要な単位には算入されない。)				

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

外国語学部ドイツ学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **34**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2(2~4年次)

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、文化人類学A、文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科学演習I、スポーツ科学演習II  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー: 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2

外国語科目 14

必修外国語科目1 8

基礎ドイツ語Ⅰ、Ⅱ文法 各1(1年次)

基礎ドイツ語Ⅰ、Ⅱコミュニケーション 各2(1年次)

基礎ドイツ語Ⅰ、Ⅱ講読 各1(1年次)

必修外国語科目2 6

英語Ⅰ、ⅡオーラルコミュニケーションB 各1

英語Ⅰ、Ⅱリーディング 各1

英語Ⅲ、ⅣオーラルコミュニケーションB 各1

学部共通科目 18

学部共通基礎科目 8 (第2年次)

学部共通専門科目 10 (第3年次以降)

学科科目 52

必修科目 28

選択科目 24

任意選択科目 24

- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、ドイツ学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

外国語学部アジア学科カリキュラム表

【外国語学部 アジア学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		38単位修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」及び次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学部共通科目	選択	学部共通基礎科目	8単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。			
	必修	学部共通専門科目			10単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。	
学科科目	必修	18単位修得しなければならない。 アジア入門演習A(2) アジア入門演習B(2) 中国語Ⅰ発音・聴力(1) 中国語Ⅱ発音・聴力(1) 中国語Ⅰ読解(1) 中国語Ⅱ読解(1) インドネシア語Ⅰ コミュニケーション(1) インドネシア語Ⅱ コミュニケーション(1)				
	選択	32単位修得しなければならない。 詳細は、「履修要項」を参照。				
任意選択科目		22単位修得しなければならない (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。 (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。 (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。 その際の履修年次は、当該学部、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目 瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目 (卒業に必要な単位には算入されない。)				

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

外国語学部アジア学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **38**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
または  
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

情報科目

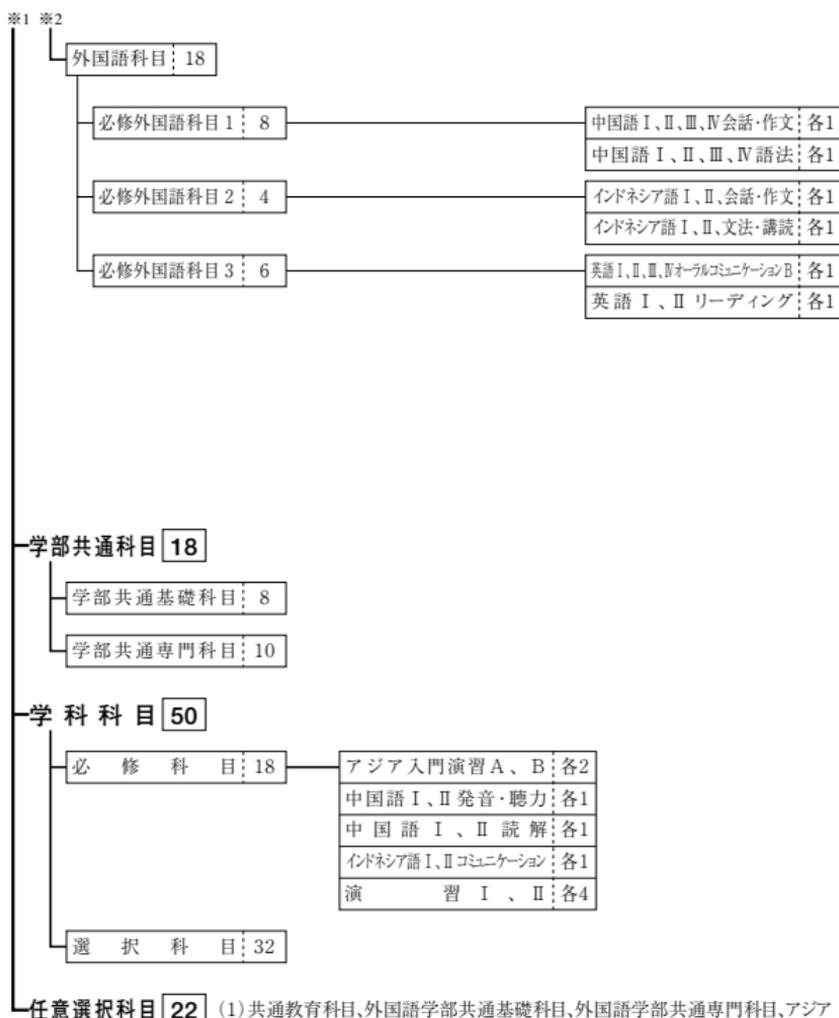
情報リテラシー 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

※1 ※2

# 外国語学部 アジア学科



- (1) 共通教育科目、外国語学部共通基礎科目、外国語学部共通専門科目、アジア学科の学科科目のうち、必要単位数を超えて修得した選択必修科目、選択科目。
- (2) 外国語学部他学科の学科科目(他学科履修不可の科目を除く)。
- (3) 名古屋キャンパスの他学部の学部共通科目、学科科目(他学部履修不可の科目を除く)。その際の履修年次は、当該学部は、学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

經 濟 學 部

## 経済学部履修要項

〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

## I. 科目履修上の一般要件

1. 経済学部の学生が卒業に必要な単位数は124単位である。この124単位のうち、共通教育科目を少なくとも32単位、経済学科科目を少なくとも76単位修得する必要がある。卒業に必要な残りの16単位については、共通教育科目、経済学科科目、名古屋キャンパスの他学部・他学科科目の中から任意に科目を選択して修得することができる。ただし科目の履修に際しては、この経済学部履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 教員職員免許状取得資格を得ようとするものは、「教職課程履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
3. 博物館学芸員資格を得ようとするものは、「博物館に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
4. 司書および司書教諭の資格を得ようとするものは、「司書・司書教諭に関する授業科目履修要項」に従って授業科目を履修しなければならない。
5. 教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目は卒業にかかわらない自由科目であり、修得した単位は卒業に必要な単位に算入されない。
6. 卒業にかかわる授業科目については1学期に履修登録できる単位数の上限を22単位とする。通年4単位科目は1学期あたり2単位として計算する。自由科目の履修登録単位数については制限を設けない。

## II. 共通教育科目の履修要件

1. 共通教育科目の履修については「共通教育科目履修要項」に従わなければならない。以下においては履修要件の要点を再掲するとともに、経済学部の決定に委ね

られている部分についての履修要件を定める。

2. 共通教育科目の中の、履修が必要な科目、必要単位数、履修年次は以下の通りである。

宗教科目 (4単位・必修)

第1年次

宗 教 論 (2)

第2年次

キリスト教概論 (2)

体育科目 (2単位・必修)

第1年次

基礎体育 A (1) 基礎体育 B (1)

「人間の尊厳」科目 (2科目4単位・選択必修)

第2年次以降

宗教に見る人間の尊厳 (2) 哲学・倫理学における人間の尊厳 (2)

思想史に学ぶ人間の尊厳 (2) 政治・経済と人間の尊厳 (2)

法と人間の尊厳 (2) 性と生命における人間の尊厳 (2)

教育・文化における人間の尊厳 (2) 民族問題と人間の尊厳 (2)

テーマ科目 (5科目10単位・選択必修)

以下の4テーマの中から、(i) 1テーマを選択して5科目10単位を修得するか、(ii) 2テーマを選択して5科目10単位 (ただし1テーマにつき2科目以上) を修得しなければならない。

第1年次以降

「異文化との出会い」(2) 「生命と環境」(2)

「知識・言語と情報社会」(2) 「モダンの系譜」(2)

分野科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。

情報科目

経済学部の学生は「情報リテラシー」を履修することはできない。

インターンシップ科目

最低必要単位数を定めていないが、修得した単位は卒業に必要な単位に算入することができる。履修年次は3年次とする。

## 外国語科目（8単位・必修 | 4単位・選択必修）

必修外国語は英語を8単位、選択必修外国語はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、の中から1言語を選択して4単位修得しなければならない。

それぞれの言語の科目指定と履修年次は下表の通りである。

		1年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語ⅠオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語ⅡオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅱリーディング(1)
選択必修 外国語 (4単位)	フランス語	フランス語Ⅰ文法・講読(1) フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1) フランス語Ⅱ会話・作文(1)
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1) ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1) ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)
	スペイン語	スペイン語Ⅰ文法・講読(1) スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1) スペイン語Ⅱ会話・作文(1)
	ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)
	中国語	中国語Ⅰ語法(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ語法(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1)
	インドネシア語	インドネシア語Ⅰ文法・講読(1) インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1) インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)
	ラテン語	ラテン語Ⅰ文法(1) ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ文法(1) ラテン語Ⅱ講読(1)
	ギリシャ語	ギリシャ語Ⅰ文法(1) ギリシャ語Ⅰ講読(1)	ギリシャ語Ⅱ文法(1) ギリシャ語Ⅱ講読(1)
		2年次	
		春学期	秋学期
必修外国語 (8単位)	英語	英語ⅢオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰ音声表現(1)	英語ⅣオーラルコミュニケーションB(1) 英語Ⅰライティング(1)

3. 宗教科目と体育科目の必修科目を除いて、最低必要単位数を越えて修得した共通教育科目の単位は、所定の範囲で卒業に必要な単位に算入することができる。

Ⅲ. 経済学科科目の履修要件

1. 経済学科科目については、以下に定める履修要件に従って必修科目を28単位、選択必修科目を少なくとも4単位、関連分野科目を除く選択科目を少なくとも40単位修得し、さらに経済学科科目全体で少なくとも76単位を修得しなければならない。
2. 経済学科の開設科目、必要単位数、履修年次は次の通りである。

(1) 必修科目 (28単位)

〔演習科目〕

第1年次

経済演習Ⅰ (4)

第2年次

経済演習Ⅱ (4)

第3年次

経済演習Ⅲ (4)

第4年次

経済演習Ⅳ (4)

〔基礎科目〕

第1年次

ミクロ経済学 (4)      マクロ経済学 (4)

データ処理入門 (2)      経済学のための数学 (2)

(2) 選択必修科目 (4単位)

〔入門科目〕

第1年次以降

現代経済入門 (2)      経済史入門A (2)

経済史入門B (2)      経済思想入門 (2)

経済統計入門 (2)

(3) 選択科目 (経済外国語科目と専攻分野科目で40単位)

〔経済外国語科目〕

第2年次以降

経済英語Ⅰ (2)      経済英語Ⅱ (2)

ビジネス英語Ⅰ (2)      ビジネス英語Ⅱ (2)

時事英語Ⅰ (2)      時事英語Ⅱ (2)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)  
(理論と情報) (理論と情報)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)  
(政策) (政策)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)  
(国際) (国際)

外書講読 A (2) 外書講読 B (2)  
(歴史と思想) (歴史と思想)

〔専攻分野科目〕

第2年次以降

〔経済分析と情報〕

計量経済学 I (2) 計量経済学 II (2)

経済統計論 I (2) 経済統計論 II (2)

理論経済学 I (2) 理論経済学 II (2)

情報経済学 I (2) 情報経済学 II (2)

データ解析 I (2) データ解析 II (2)

オペレーションズ・リサーチA (2) オペレーションズ・リサーチB (2)

特別テーマ講義A (2) 特別テーマ講義B (2)  
(理論と情報) (理論と情報)

〔日本経済の分析と政策〕

経済政策論 I (2) 経済政策論 II (2)

経済変動論 I (2) 経済変動論 II (2)

日本経済論 A (2) 日本経済論 B (2)

財政学 I (2) 財政学 II (2)

金融論 I (2) 金融論 II (2)

労働経済学 I (2) 労働経済学 II (2)

公共経済学 I (2) 公共経済学 II (2)

産業組織論 A (2) 産業組織論 B (2)

社会保障論 A (2) 社会保障論 B (2)

特別テーマ講義A (2) 特別テーマ講義B (2)  
(政策) (政策)

〔国際経済と政策〕

国際経済学 I (2) 国際経済学 II (2)

開発経済学 I (2) 開発経済学 II (2)

国際金融論 I (2) 国際金融論 II (2)

国際経済政策論 I (2)	国際経済政策論 II (2)
アジア経済論 I (2)	アジア経済論 II (2)
アメリカ経済論 I (2)	アメリカ経済論 II (2)
特別テーマ講義A (2) (国際)	特別テーマ講義B (2) (国際)

〔経済の歴史と思想〕

西洋経済史 A (2)	西洋経済史 B (2)
日本経済史 I (2)	日本経済史 II (2)
経済思想史 I (2)	経済思想史 II (2)
経済倫理学 I (2)	経済倫理学 II (2)
経済体制論 I (2)	経済体制論 II (2)
経済学史 I (2)	経済学史 II (2)
消費社会論 I (2)	消費社会論 II (2)
特別テーマ講義A (2) (歴史と思想)	特別テーマ講義B (2) (歴史と思想)

〔関連分野科目〕 (最低必要単位数を定めない)

第1年次以降

会計原理 I (2)	会計原理 II (2)
------------	-------------

第2年次以降

経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
マーケティング論A (2)	マーケティング論B (2)
経営史 A (2)	経営史 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (損害保険論)
現代産業論 (2) (都市銀行論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (ツーリズム概論)
民法 I (2)	民法 II (2)
商法 I (2)	商法 II (2)

## 第3年次以降

職業指導 A (2) 職業指導 B (2)  
 経済法 I (2) 経済法 II (2)  
 労働法 I (2) 労働法 II (2)  
 行政法 I (2) 行政法 II (2)

3. 「経済演習Ⅲ」の単位を修得していなければ、「経済演習Ⅳ」を履修登録することはできない。  
 また「経済演習Ⅲ」と「経済演習Ⅳ」は原則として同じ担当者の演習科目でなければならない。
4. 「経済演習Ⅳ」の単位修得のためには、「卒業論文」を提出して審査に合格することが必要である。
5. 「現代産業論」は、2科目4単位を上限として卒業に必要な単位数に算入することができる。これを超えて単位を修得した科目は自由科目とされ、卒業に必要な単位数に算入することができない。

## IV. 他学部・他学科科目の履修要件

1. 名古屋キャンパスの他学部・他学科で開講される科目を履修して修得した単位は、所定の範囲で卒業に必要な単位数に算入することができる。ただし履修の際は、当該学部・学科の履修要項に定められた履修要件に従わなければならない。
2. 前項の科目履修の際、経済学科科目と同一名称の科目を履修することはできない。

## V. その他の履修要件

1. 単位を修得した科目の重複履修はできない。
2. 科目名の末尾に「I」「II」のついた科目は、履修の順序を定めている積み上げ科目なので、「II」を履修するためには、原則として「I」のついた同じ名称の科目を履修していなければならない。科目名の末尾の「A」「B」だけが異なる科目は、履修の順序を定めない独立した科目なので、それぞれ別個に履修することができる。
3. 海外留学中に履修した英語プログラムは、別に定める

『英語プログラム』の単位認定について」の規程に従って単位を認定する。

4. 休学の後に復学した者は、原則としてそれまでの修業年数に応じた年次指定科目に限って履修登録することができる。

## 「英語プログラム」の単位認定について

経済学部では、海外留学を奨励するという趣旨に則り、留学先で修得した「英語プログラム」の単位認定を以下の方法により行う。

- I. 「英語プログラム」の単位認定の手続きは正規の授業科目の単位認定に必要な申請手続きに準ずるものとし、以下の基準により単位を認定する。
  - (1) 認定単位数の計算は、「南山大学授業科目履修規程」にある外国語科目の単位数計算の基礎に基づいて行う。
  - (2) 「英語プログラム」により履修した科目は、経済学科科目の「経済英語Ⅰ・Ⅱ」、「ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ」、「時事英語Ⅰ・Ⅱ」、「外書講読（理論と情報）A・B」、「外書講読（政策）A・B」、「外書講読（国際）A・B」、「外書講読（歴史と思想）A・B」、または「経済演習Ⅱ」として認定する。
  - (3) 留学先で修得した正規の授業科目を含めた認定単位数が30単位を越える場合は、「英語プログラム」の方の認定単位を調整し、認定単位数を30単位以下におさえる。
- II. 留学先大学から「英語プログラム」の成績が提出されないときは、以下の条件のいずれかが満たされた場合に、前条の(1)(2)(3)に従って認定する。
  - (1) 留学中あるいは帰国直後に受けたTOEFLの得点が500点以上ある場合。
  - (2) 前項(1)の得点が国際教育センター委員会の記録に記載された留学前のTOEFLの得点と比べて60点以上向上した場合。
- III. 留学先大学で修得した英語以外の外国語の単位認定についても、上記の認定基準を適用する。

経済学部経済学科カリキュラム表

【経済学部 経済学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目(32)		詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。				
学 科 目 (76)	演習科目(16)	経済演習Ⅰ(4)	経済演習Ⅱ(4)	経済演習Ⅲ(4)	経済演習Ⅳ(4)	
	必修 基礎科目 (12)	ミクロ経済学(4) マクロ経済学(4) データ処理入門(2) 経済学のための数学 (2)				
	選択 必修 科目 (4)	入門科目	現代経済入門(2) 経済史入門A(2) 経済史入門B(2) 経済思想入門(2) 経済統計入門(2) より、4単位以上修得しなければならない。			
	選 択 (40)	経済外国語科目	経済外国語科目と専攻分野科目で40単位以上修得しなければならない。			
	専攻分野科目	詳細は、「履修要項」を参照。				
	(40) 関連分野科目	最低必要単位数を定めない。				
他学部・他学科科目		最低必要単位数を定めない。				
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)				

(注)記載された単位数は各科目分類別の最低必要単位数を示している。

卒業に必要な単位数は124単位なので、不足分16単位については、共通教育科目(必修科目を除く)、経済学科科目(必修科目を除く)および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(履修不可科目を除く)の中から任意に履修した科目の単位で充当すること。

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

経済学部経済学科

総単位数 **124**

共通教育科目 **32**

必修科目 **6**

宗教科目

宗教論 2(1年次)

キリスト教概論 2(2年次)

体育科目

基礎体育A 1(1年次)

基礎体育B 1(1年次)

選択必修科目 **4**

「人間の尊厳」科目 各2(2~4年次)

選択必修科目 **10**

テーマ科目

異文化との出会い 各2(1~4年次)

生命と環境 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会 各2(1~4年次)

モダンの系譜 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目 **0**

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、  
法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、  
文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技 各1(2~4年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修 2(3年次)

外国語科目 **12**

必修外国語科目 **8**

選択必修外国語科目 **4**

経済学部

		1年次		2年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
必修外国語科目 (8単位)	英語	英語Ⅰオーラル・ コミュニケーションB(1) 英語Ⅰリーディング(1)	英語Ⅱオーラル・ コミュニケーションB(1) 英語Ⅱリーディング(1)	英語Ⅲオーラル・ コミュニケーションB(1) 英語Ⅰ音声表現(1)	英語Ⅳオーラル・ コミュニケーションB(1) 英語Ⅰライティング(1)
選択必修外国語 科目 (4単位)	フランス語	フランス語Ⅰ文法・講読(1) フランス語Ⅰ会話・作文(1)	フランス語Ⅱ文法・講読(1) フランス語Ⅱ会話・作文(1)		
	ドイツ語	ドイツ語Ⅰ文法・講読(1) ドイツ語Ⅰ会話・作文(1)	ドイツ語Ⅱ文法・講読(1) ドイツ語Ⅱ会話・作文(1)		
	スペイン語	スペイン語Ⅰ文法・講読(1) スペイン語Ⅰ会話・作文(1)	スペイン語Ⅱ文法・講読(1) スペイン語Ⅱ会話・作文(1)		
	ポルトガル語	ポルトガル語Ⅰ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅰ会話・作文(1)	ポルトガル語Ⅱ文法・講読(1) ポルトガル語Ⅱ会話・作文(1)		
	中国語	中国語Ⅰ語法(1) 中国語Ⅰ会話・作文(1)	中国語Ⅱ語法(1) 中国語Ⅱ会話・作文(1)		
	インドネシア語	インドネシア語Ⅰ文法・講読(1) インドネシア語Ⅰ会話・作文(1)	インドネシア語Ⅱ文法・講読(1) インドネシア語Ⅱ会話・作文(1)		
	ラテン語	ラテン語Ⅰ文法(1) ラテン語Ⅰ講読(1)	ラテン語Ⅱ文法(1) ラテン語Ⅱ講読(1)		
	ギリシャ語	ギリシャ語Ⅰ文法(1) ギリシャ語Ⅰ講読(1)	ギリシャ語Ⅱ文法(1) ギリシャ語Ⅱ講読(1)		

## 学 科 科 目 76

必修科目：28	演習科目：16
	基礎科目：12
選択必修科目：4	入門科目
選択科目：40	経済外国語科目
	専攻分野科目
選択科目：0	関連分野科目

## 他学部・他学科科目 0

(注) (1)記載された単位数は各科目分類の最低必要単位数を示している。

(2) 共通教育科目の32単位、経済学科科目の76単位を合計した108単位は、卒業に必要な総単位数の124単位に達していない。この不足分の16単位については、共通教育科目(必修科目を除く)、経済学科科目(必修科目を除く)および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目(履修不可科目を除く)の中から任意に履修した科目の単位で充当することができる。

(3) 経済学科科目の最低必要単位数は76単位であるが、必修科目の28単位、選択必修科目の4単位、関連分野科目を除く選択科目の40単位を合計した72単位では4単位不足している。この4単位分は、選択必修科目および関連分野科目を含む選択科目の中から任意に履修した科目の単位で充当する。

經 營 学 部

經  
營  
学  
部

## 経営学部経営学科履修要項

〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

1. 経営学部経営学科学生は共通教育科目32単位以上、経営学科科目70単位以上を含め、合計128単位以上を履修しなければならない。

なお、卒業に必要な単位数128単位のうち、上記の共通教育科目32単位および経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい（ただし、自由科目を除く）。

2. 共通教育科目（32単位）の履修は次のとおりである。

- (1) 必修科目（6単位）を修得しなければならない。

第1年次

宗 教 論 (2) 基 礎 体 育 A (1)

基 礎 体 育 B (1)

第2年次

キリスト教概論 (2)

- (2) 選択必修科目（14単位）を次のとおり修得しなければならない。

第1年次以降

次のテーマの中から1テーマを選択して5科目10単位修得するか、または2テーマを選択して5科目10単位修得すること（但し、1テーマ2科目以上）。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項（2000年度以降に入学した学生に適用）」を参照すること。

「異文化との出会い」 「生命と環境」

「知識・言語と情報社会」 「モダンの系譜」

第2年次以降

「人間の尊厳」科目から、2科目4単位以上修得すること。

- (3) 外国語科目（12単位）を次のとおり修得しなければならない。

必修外国語科目（8）

第1年次

## 経営学部 経営学科

英語ⅠオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅡオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅰリーディング (1) 英語Ⅰライティング (1)

### 第2年次

英語ⅢオーラルコミュニケーションB (1) 英語ⅣオーラルコミュニケーションB (1)

英語Ⅱリーディング (1) 英語Ⅱライティング (1)

### 選択必修外国語科目 (4)

次の外国語の中から1種類の外国語を選択して、4単位修得すること。なお、科目の詳細は「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」を参照すること。

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、インドネシア語、ラテン語、ギリシャ語、英語

3. 経営学科に開設する学科科目およびその体系は次のとおりである。なお、各科目の講義内容その他の詳細は「授業科目履修案内(講義概要)〈経済・経営・法〉」を参照すること。

### 演習科目

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)  
(情報基礎) (外書講読) A

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)  
(外書講読) B (プレゼミナール)

経営演習Ⅰ (4) 経営演習Ⅱ (4)

### スキル科目

#### [ビジネス英語]

ビジネス英語ⅠA (1) ビジネス英語ⅠB (1)

ビジネス英語ⅡA (1) ビジネス英語ⅡB (1)

ビジネス英語ⅢA (1) ビジネス英語ⅢB (1)

ビジネス英語ⅣA (1) ビジネス英語ⅣB (1)

#### [簿記]

商業簿記Ⅰ (2) 商業簿記Ⅱ (2)

工業簿記Ⅰ (2) 工業簿記Ⅱ (2)

## [情報・解析]

経営数学 (2)	経営統計学 (2)
情報処理 A (2)	情報処理 B (2)
データ解析 (2) (組織・労務)	データ解析 (2) (財務)
データ解析 (2) (マーケティング)	データ解析 (2) (会計)
データ解析 (2) (企業)	

## 専門科目

## [基礎科目]

経済原論 I (2)	経済原論 II (2)
数学 I (2)	数学 II (2)
統計学 I (2)	統計学 II (2)

## [コア科目]

## 総論・組織・労務論

経営学総論 A (2)	経営学総論 B (2)
経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
経営労務論 A (2)	経営労務論 B (2)
労使関係論 A (2)	労使関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)

## 財務論

経営財務論 A (2)	経営財務論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	

## マーケティング論

マーケティング論 A (2)	マーケティング論 B (2)
マーケティング・マネジメント A (2)	マーケティング・マネジメント B (2)

## 経営学部 経営学科

市場調査論 A (2)      市場調査論 B (2)  
流通論 A (2)      流通論 B (2)

### 会計学

会計原理 I (2)      会計原理 II (2)  
財務会計論 A (2)      財務会計論 B (2)  
株式会社会計論 A (2)      株式会社会計論 B (2)  
原価計算論 A (2)      原価計算論 B (2)  
管理会計論 A (2)      管理会計論 B (2)  
監査論 A (2)      監査論 B (2)  
経営分析論 A (2)      経営分析論 B (2)  
税務会計論 A (2)      税務会計論 B (2)

### [一般科目]

経営史 A (2)      経営史 B (2)  
企業論 A (2)      企業論 B (2)  
グローバル・ビジネス論 A (2)      グローバル・ビジネス論 B (2)  
経営管理論 A (2)      経営管理論 B (2)  
経営戦略論 A (2)      経営戦略論 B (2)  
経営環境論 A (2)      経営環境論 B (2)  
国際比較経営論 A (2)      国際比較経営論 B (2)  
オペレーションズ・リサーチ A (2)      オペレーションズ・リサーチ B (2)  
経営情報論 A (2)      経営情報論 B (2)  
経営倫理 (2)      商法 I (2)  
商法 II (2)      英語ビジネス・ディスカッション A (2)  
英語ビジネス・ディスカッション B (2)      英語ビジネス論文作成法 A (2)  
英語ビジネス論文作成法 B (2)      経営学特殊講義 A (2)  
経営学特殊講義 B (2)

### [関連科目]

金融論 I (2)      金融論 II (2)  
産業組織論 A (2)      産業組織論 B (2)  
労働経済学 I (2)      労働経済学 II (2)  
国際経済学 I (2)      国際経済学 II (2)

民法 I (2)	民法 II (2)
労働法 I (2)	労働法 II (2)
経済法 I (2)	経済法 II (2)
行政法 I (2)	行政法 II (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (都市銀行論)
現代産業論 (2) (損害保険論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (起業論)
現代産業論 (2) (ツーリズム概論)	現代産業論 (2) (先輩経営者と語る)
職業指導 A (2)	職業指導 B (2)

## [その他]

英語ビジネス論文作成指導 (2)

4. 経営学科科目の必修・選択必修・選択・任意選択・自由の指定、単位数および履修年次は次のとおりである（かっこ内の数字は単位数を示す）。

**必修科目**

演習科目 (8 単位)

第3年次

経営演習 I (4)

第4年次

経営演習 II (4)

**選択必修科目**

演習科目 (6 単位以上)

第1年次

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)  
(情報基礎) (外書講読) A

第2年次

基礎演習 (2) 基礎演習 (2)  
(外書講読) B (プレゼミナル)

スキル科目（8単位以上）

第1年次

ビジネス英語ⅠA（1）	ビジネス英語ⅠB（1）
ビジネス英語ⅡA（1）	ビジネス英語ⅡB（1）
商業簿記Ⅰ（2）	商業簿記Ⅱ（2）
情報処理A（2）	

[注：春学期に「基礎演習(情報基礎)」を履修後に履修]

第2年次

ビジネス英語ⅢA（1）	ビジネス英語ⅢB（1）
ビジネス英語ⅣA（1）	ビジネス英語ⅣB（1）
工業簿記Ⅰ（2）	工業簿記Ⅱ（2）
経営数学（2）	経営統計学（2）
情報処理B（2）	

第3年次以降

データ解析（2） （組織・労務）	データ解析（2） （財務）
データ解析（2） （マーケティング）	データ解析（2） （会計）
データ解析（2） （企業）	

選択必修専門科目（24単位以上）

第1年次

[基礎科目]

経済原論Ⅰ（2）	経済原論Ⅱ（2）
数学Ⅰ（2）	数学Ⅱ（2）

[コア科目]

経営学総論A（2）	経営学総論B（2）
会計原理Ⅰ（2）	会計原理Ⅱ（2）

第2年次

[基礎科目]

統計学Ⅰ（2）	統計学Ⅱ（2）
---------	---------

[コア科目]

経営労務論A（2）	経営労務論B（2）
経営財務論A（2）	経営財務論B（2）
マーケティング論A（2）	マーケティング論B（2）

## 選択科目

選択専門科目 (24単位以上)

第2年次以降

[コア科目]

経営組織論 A (2)	経営組織論 B (2)
資本市場論 A (2)	資本市場論 B (2)
流通論 A (2)	流通論 B (2)
財務会計論 A (2)	財務会計論 B (2)
株式会社会計論 A (2)	株式会社会計論 B (2)
原価計算論 A (2)	原価計算論 B (2)

[一般科目]

経営史 A (2)	経営史 B (2)
企業論 A (2)	企業論 B (2)
経営管理論 A (2)	経営管理論 B (2)
経営環境論 A (2)	経営環境論 B (2)
経営情報論 A (2)	経営情報論 B (2)
経営倫理 (2)	商法 I (2)
商法 II (2)	

[関連科目]

民法 I (2)	民法 II (2)
----------	-----------

第3年次以降

[コア科目]

労使関係論 A (2)	労務関係論 B (2)
組織心理学 A (2)	組織心理学 B (2)
国際人事管理論 A (2)	国際人事管理論 B (2)
投資論 A (2)	投資論 B (2)
国際財務論 A (2)	国際財務論 B (2)
金融派生商品論 (2)	マーケティング・マネジメント A (2)
マーケティング・マネジメント B (2)	市場調査論 A (2)
市場調査論 B (2)	管理会計論 A (2)
管理会計論 B (2)	監査論 A (2)
監査論 B (2)	経営分析論 A (2)
経営分析論 B (2)	税務会計論 A (2)
税務会計論 B (2)	

[一般科目]

グローバル・ビジネス論A (2)	グローバル・ビジネス論B (2)
経営戦略論A (2)	経営戦略論B (2)
国際比較経営論A (2)	国際比較経営論B (2)
オペレーションズ・リサーチA (2)	オペレーションズ・リサーチB (2)
英語ビジネス・ディスカッションA (2)	英語ビジネス・ディスカッションB (2)
英語ビジネス論文作成法A (2)	英語ビジネス論文作成法B (2)
経営学特殊講義A (2)	経営学特殊講義B (2)

[関連科目]

金融論 I (2)	金融論 II (2)
産業組織論 A (2)	産業組織論 B (2)
労働経済学 I (2)	労働経済学 II (2)
国際経済学 I (2)	国際経済学 II (2)
労働法 I (2)	労働法 II (2)
経済法 I (2)	経済法 II (2)
行政法 I (2)	行政法 II (2)
現代産業論 (2) (総合商社論)	現代産業論 (2) (都市銀行論)
現代産業論 (2) (損害保険論)	現代産業論 (2) (電子・電機産業論)
現代産業論 (2) (自動車産業論)	現代産業論 (2) (起業論)
現代産業論 (2) (ツーリズム概論)	現代産業論 (2) (先輩経営者と語る)
職業指導 A (2)	職業指導 B (2)

任意選択科目 (0単位以上)

共通教育科目 (必修科目を除く)

名古屋キャンパスの他学部・他学科に開講される科目  
(他学部・他学科履修不可科目を除く)

(注意) 他学部・他学科に開設される学科科目・学部共通科目で履修を許可された科目の履修年次は、当該学部・学科において定められた履修年次を遵守しなければならない。

**自由科目**（卒業必要単位数に算入されない科目）

- ・瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目
- ・第4年次秋学期  
英語ビジネス論文作成指導（2）

5. I、IIまたはA、Bが付された科目の履修登録方法は下記のとおりとする。
- (1) 授業科目にI、IIが付されている科目は、原則として、Iの履修後でなければIIを履修登録することができない。III、IVが付されている科目も同様とする。
  - (2) 授業科目にA、Bが付されている科目は、AまたはBのいずれか一つを履修登録することができる。ただし、止むを得ない場合を除いて、A、Bともに履修登録することが望ましい。
6. 演習科目を各履修年次の指導教員制クラスとする。従って、第2年次を修了するまでは、毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない。
- なお、6単位を越えて単位を修得した基礎演習科目は選択専門科目に振り替えることができる。
7. 「経営演習Ⅰ」および「経営演習Ⅱ」を履修登録するためには、下記の条件を満たさなければならない。
- (1) 「経営演習Ⅰ」を履修登録するためには、原則として、共通教育科目および経営学科科目の単位を合計44単位以上修得し、併せて選択必修専門科目の単位を12単位以上修得していなければならない。
  - (2) 「経営演習Ⅱ」は、「経営演習Ⅰ」の単位修得後でなければこれを履修登録することができない。
8. 「経営演習Ⅰ」を履修している年度の途中で海外の大学に留学する場合には、当該留学先大学で履修した科目の単位をもって「経営演習Ⅰ」の単位に読み替えることができる。
9. 「経営演習Ⅱ」の単位を修得するためには卒業論文を作成し、指定された期日までにこれを提出しなければならない。
- なお、卒業論文が満たすべき要件、提出期日等については別に定める。

10. 「データ解析」および「現代産業論」は、以下に示す単位数を上限として卒業必要単位数に算入することができる。上限を越えて単位を修得した科目は自由科目とする。
- (1) 「データ解析」は3科目6単位まで。
  - (2) 「現代産業論」は2科目4単位まで。
11. 24単位を越えて修得した選択必修専門科目の単位は、選択専門科目に振り替えることができる。
12. 経営学部経営学科の学生は、「教職に関する科目」、「博物館に関する科目」および「図書館司書・図書館司書教諭に関する科目」を自由科目として履修登録することができる。
13. 経営学部経営学科の学生が1学期に履修登録することが許される単位数は22単位までとする（自由科目は含まない）。
- なお、スキル科目は、第1年次は1学期につき2単位、第2年次以降は1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。また、他学部、他学科に開講される科目は、1学期につき4単位を越えて履修登録することはできない。

\*\*\*\*\*

### **基礎演習(プレゼミナール)・一部のスキル科目・ 経営演習Ⅰの予備登録について**

基礎演習(プレゼミナール)、ビジネス英語スキル科目および経営演習Ⅰを履修するためには、事前に予備登録を行なう必要がある。予備登録の説明会は、基礎演習(プレゼミナール)については毎年5月頃に、スキル科目については毎年12月頃に、経営演習Ⅰについては毎年11月頃に実施する予定なので、掲示には十分注意すること。

### **松山大学経営学部との単位互換協定について**

松山大学経営学部との単位互換協定による特別聴講生を希望する学生は秋頃に教務課窓口で説明を受けること。

## 経営学部経営学科カリキュラム表

## 【経営学部 経営学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分		年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目			32単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学 科 科 目 ( 70 単 位 以 上)	必修科目	演習科目			経営演習Ⅰ(4)	経営演習Ⅱ(4)
	選択必修科目	演習科目	6単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [第2年次を修了するまでは毎学期、必ず基礎演習科目を履修登録しなければならない] [6単位を超えて単位を修得した基礎演習科目は、選択専門科目に振り替えることができる]			
	修科目	スキル科目	8単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。			
	選択必修専門科目		24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 [24単位を超えて単位を修得した選択必修専門科目は、選択専門科目に振り替えることができる]			
	選択科目	選択専門科目	24単位以上修得しなければならない。 詳細は「履修要項」の第4項を参照。			
任意選択科目			0単位以上 詳細は「履修要項」の第4項を参照。 共通教育科目(必修科目を除く) 名古屋キャンパスの他学部・他学科に開講される科目(他学部・他学科履修不可科目を除く)			
自由科目			英語ビジネス論文作成指導(2)、教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)			

選択必修科目の「データ解析」は、3科目6単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

選択科目の「現代産業論」は、2科目4単位まで卒業必要単位数に算入することができる。

(注)卒業に必要な単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な経営学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、経営学科科目、共通教育科目および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい(ただし、自由科目を除く)。

卒業に必要な単位数  
〔2000年度以降に入学した学生に適用〕

経営学部経営学科

総単位数 **128**

共通教育科目 **32以上**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2(2~4年次)

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得または
2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得(但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、美術A、美術B、音楽A、音楽B、法学A、法学B、日本国憲法、政治学A、政治学B、文化人類学A、文化人類学B、社会学A、社会学B、経済学A、経済学B、数学A、数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、生命科学、化学、心理学A、心理学B、科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、基礎生物学セミナーB  
各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

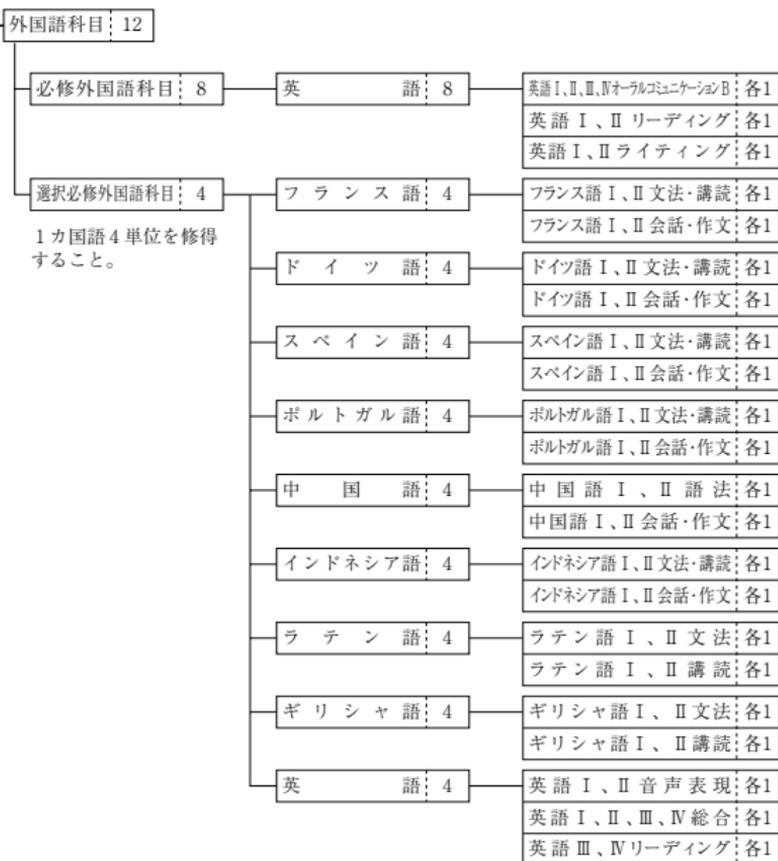
情報科目

注) 経営学部経営学科の学生による「情報リテラシー(2)」の履修登録は認められない。

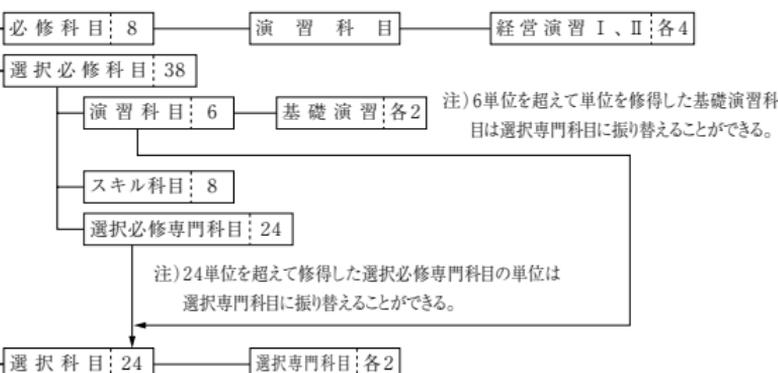
インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2



## 学科科目 70以上



## 任意選択科目 0以上

注) 卒業必要総単位数128単位のうち、卒業に必要な共通教育科目32単位および卒業に必要な学科科目70単位を差し引いた残りの26単位は、学科科目、共通教育科目および名古屋キャンパスの他学部・他学科科目のいずれの授業科目の単位であってもよい。(ただし、自由科目を除く)。

# 法 学 部

法  
学  
部

## 法学部履修要項

[2000年度以降に入学した学生に適用]

1. 法学部学生は、「共通教育科目」、「学科科目」および「任意選択科目」を履修して、卒業に必要な132単位を履修しなければならない。このうち、共通教育科目については最低28単位、学科科目については最低92単位を履修しなければならない。卒業に必要な残り12単位については、学科科目、または、任意選択科目（共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目、もしくは、名古屋キャンパスの他学部開講科目）から、任意に科目を選んで履修して、単位を修得しなければならない。
2. 共通教育科目の履修方法は次のとおりとする。
  - (1) 必修科目（6単位）
    - 第1年次
      - 宗 教 論（2） 基礎体育 A（1）
      - 基礎体育 B（1）
    - 第2年次
      - キリスト教概論（2）
  - (2) 選択必修科目（14単位）
    - 第1年次
      - 下記のテーマから、1テーマを選択してその中から5科目10単位、または2テーマを選択してその中から5科目10単位（ただし、1テーマは2科目以上）
      - 「異文化との出会い」、「生命と環境」、「知識・言語と情報社会」、「モダンの系譜」
    - 第2年次以降
      - 「人間の尊厳」科目から4単位以上
      - 科目の詳細は、それぞれの要項を参照すること。
  - (3) 外国語科目（8単位）
    - 必修科目（4単位）
      - 英語Ⅰオーラル・コミュニケーションB（1） 英語Ⅱオーラル・コミュニケーションB（1）
      - 英語Ⅰリーディング（1） 英語Ⅱリーディング（1）
    - 選択必修科目（4単位）

次の外国語の中から、一種類の外国語を選択して、4単位修得すること（外国語科目の詳細については共通教育科目履修要項を参照すること）。

英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語

3. 共通教育科目の選択科目（分野科目、情報科目およびインターンシップ科目）で履修した単位は、日本国憲法（2）、法学A（2）、法学B（2）を除き、任意選択科目として12単位を限度に、卒業に必要な単位に算入される。

4. 法学部に開設する学科科目とその単位数および履修年次は次のとおりとする。（かっこ内の数字は単位数を示す）

A群（第1年次及び第2年次以降配当科目）

第1年次

ベーシック演習（4）	公法入門（2）
私法入門（2）	憲法A（人権）（4）
憲法B（統治機構）（4）	民法総論（4）
刑法総論（4）	

第2年次

ミドル演習（4）	行政法総論（4）
行政法各論（4）	刑法各論（4）
刑事訴訟法（4）	刑事政策（4）
国際法総論（4）	物権法（4）
契約法（4）	不法行為法（2）
家族法（4）	商法総則・商行為法（4）
会社法（4）	民事訴訟法（4）
労働法（4）	国際私法（4）
法哲学（4）	法社会学（4）
日本法史（4）	西洋法史（4）
英米法（2）	ドイツ法（2）
フランス法（2）	スペイン法（2）
政治学原論（4）	行政学（4）

政治思想史 (4)	政治史 (2)
国際政治学 (4)	国際機構論 (2)
外書講読 (4)	経済原論 (4)

B群 (第3年次以降および第4年次配当科目)

第3年次以降

法学演習 I (4)	地方自治法 (2)
税財政法 (4)	国際法各論 (4)
担保物権法 (2)	債権法総論 (4)
手形法・小切手法 (4)	保険法・海商法 (4)
経済法 (4)	企業会計法 (2)
民事執行法 (4)	倒産法 (4)
国際取引法 (2)	社会保障法 (2)
企業法務 (2)	国際企業法務 (2)
少年法 (2)	経済刑法 (2)

第4年次

法学演習 II (4)
-------------

5. 法学部学生は、A群で64単位以上を修得しなければならない。卒業に必要な学科科目のうち、残り最低28単位については、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。
6. 第1年次においてベーシック演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再履修することができないので、A群から4単位を修得してこれに代えなければならない。
7. 第2年次においてミドル演習の単位を修得できなかったときは、休学による場合を除き、再修得することができないので、A群から4単位を修得してこれに代えなければならない。
8. A群の公法入門および私法入門については、休学等の理由により事実上1年次生と同様であると認められない限り、

第2年次生以上は履修することができない。

9. 法学演習Ⅱは、法学演習Ⅰの単位を修得した者のみが、履修することができる。また、法学演習Ⅱの単位を修得するためには、卒業論文を提出しなければならない。
10. 法学部学生は、教職に関する科目、博物館に関する科目及び司書・司書教諭に関する科目を自由科目として履修することができる（ただし、各科目とも定められた履修年次を遵守しなければならない）。これらは、卒業に必要な単位の算入されない。
11. 法学部学生は、瀬戸キャンパスで開講されるいかなる科目も、卒業に必要な単位の算入される科目として履修することはできない。ただし、自由科目（卒業に必要な単位の算入されない）として履修することはできる。
12. 第1・2・3年次生の履修可能単位数は春学期・秋学期それぞれ26単位とし、第4年次以降の履修可能単位数は各期それぞれ30単位とする（なお通年科目の単位数については、各期ごとに単位数を割り振る。したがって、4単位の通年科目を登録した場合、その科目につき各期2単位を登録したものと計算する）。ただし、自由科目（教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目及び瀬戸キャンパス開講科目）については、上記の制限を受けずに履修することができる。

## 法学部法律学科カリキュラム表

## 【法学部 法律学科】

(2000年度以降に入学した学生に適用)

区分	年次別	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次
共通教育科目		28単位以上修得しなければならない。 詳細は、「共通教育科目履修要項(2000年度以降に入学した学生に適用)」および次ページ「卒業に必要な単位数」を参照。			
学科科目 (92単位以上)	A 群	64単位以上修得しなければならない。 学科科目の卒業必要単位92単位のうち、上記64単位を差し引いた残り28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 <u>詳細は、「履修要項」を参照</u>			
	B 群	学科科目の卒業必要単位92単位のうち、A群で修得した64単位以上を差し引いた残り最大28単位は、A群またはB群から任意に科目を履修して修得しなければならない。 <u>詳細は、「履修要項」を参照</u>			
任意選択科目		0~12単位 <u>詳細は、「履修要項」を参照</u> 共通教育科目のうち必修科目を除くすべての科目で、日本国憲法(2)、法学A(2)、法学B(2)以外の科目 名古屋キャンパスの他学部・他学科開講科目			
自由科目		教職に関する科目、博物館に関する科目、司書・司書教諭に関する科目、瀬戸キャンパスで開講されるすべての科目(卒業に必要な単位には算入されない。)			

卒業に必要な単位数  
 (2000年度以降に入学した学生に適用)

法学部法律学科

総単位数 **132**

共通教育科目 **28以上**

必修科目: 6

宗教科目

宗教論: 2(1年次)

キリスト教概論: 2(2年次)

体育科目

基礎体育A: 1(1年次)

基礎体育B: 1(1年次)

選択必修科目: 4

「人間の尊厳」科目: 各2(2~4年次)

選択必修科目: 10

テーマ科目

異文化との出会い: 各2(1~4年次)

生命と環境: 各2(1~4年次)

知識・言語と情報社会: 各2(1~4年次)

モダンの系譜: 各2(1~4年次)

1. 1テーマを選択して5科目10単位を修得  
 または  
 2. 2テーマを選択して5科目10単位を修得  
 (但し、1テーマは2科目以上を修得)

選択科目:

分野科目

哲学A、哲学B、文学A、文学B、  
 考古学A、考古学B、日本史A、日本史B、  
 東洋史A、東洋史B、西洋史A、西洋史B、  
 美術A、美術B、音楽A、音楽B、  
 政治学A、政治学B、  
 文化人類学A、文化人類学B、社会学A、  
 社会学B、経済学A、経済学B、数学A、  
 数学B、物理学A、物理学B、生命自然史、  
 生命科学、化学、心理学A、心理学B、  
 科学技術論A、科学技術論B、地球科学A、  
 地球科学B、スポーツ科学論、健康科学論、  
 スポーツ科学演習Ⅰ、スポーツ科学演習Ⅱ  
 各2(1~4年次)

基礎生物学セミナーA、  
 基礎生物学セミナーB  
 各4(1~4年次)

体育科目

スポーツ実技: 各1(2~4年次)

情報科目

情報リテラシー: 2(1~2年次)

インターンシップ科目

インターンシップ研修: 2(3年次)

※1 ※2

外国語科目 8

必修外国語科目 4

英 語 4

英語Ⅰ、ⅡオーラルコミュニケーションⅡ 各1  
英語Ⅰ、Ⅱリーディング 各1

選択必修外国語科目 4

1カ国語4単位を修得。

英 語 4

英語Ⅰ、Ⅱライティング 各1  
英語Ⅰ、Ⅱ音声表現 各1

英語Ⅰ、Ⅱ総合 各1  
英語Ⅲ、ⅣオーラルコミュニケーションⅡ 各1  
英語Ⅲ、Ⅳリーディング 各1  
英語Ⅲ、Ⅳ総合 各1

フ ラ ンス 語 4

フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
フランス語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ド イ ツ 語 4

ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
ドイツ語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ス ペ イ ン 語 4

スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ文法・講読 各1  
スペイン語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

ポルトガル語 4

ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ文法・講読 各1  
ポルトガル語Ⅰ、Ⅱ会話・作文 各1

中 国 語 4

中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ語法 各1  
中国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ会話・作文 各1

学科科目 92以上

A 群 1・2～4年次 64単位以上

B 群 3～4年次

任意選択科目 (上記以外で卒業単位数に算入出来るもの) 0～12

共通教育科目のうち必修科目、日本国憲法、法学A、法学Bを除くすべての科目

名古屋キャンパスの他学部開講科目

## 「会計士講座」と公認会計士・税理士試験

### 1. 会計士講座

公認会計士・税理士を目指す学生は、「会計士講座」に入会して、勉強することができる。会計士講座の運営は会計士講座に所属する学生に委ねられている。本学教員および会計士講座OBとの交流も考えられている。大学は講座室を提供し、運営資金の一部を援助している。

### 2. 公認会計士および税理士

公認会計士または税理士を目指す者は、下記の事項を承知したうえで、授業科目を選択・履修することが望ましい。

#### (1) 公認会計士の業務と公認会計士試験

公認会計士の業務は、大きく分けて、①監査業務、②税務業務、および③マネジメント・アドバイザー・サービス(MAS)業務の3つの業務からなる。

公認会計士監査は、まさに公認会計士に固有の業務であり、上場会社等が作成する損益計算書、貸借対照表、その他の財務諸表に虚偽記載がないか、公正不偏な第三者の立場から、会計専門家としての意見を表明する一連の業務を指す。有価証券報告書等に記載される監査意見の付された財務諸表は、投資家や金融機関等、企業を取り巻く多くの利害関係者の意思決定に利用されるため、監査業務は、社会的に極めて責任の重い、公認会計士に固有の業務とされている。

公認会計士は、税務業務も行える。第3次試験に合格すると、税理士法により、税理士の登録資格が得られるからである。税務業務のうち、とりわけ国際税務サービスは、企業活動の国際化にともなう公認会計士の新たな活動領域となっている。

コンピュータの導入による経営情報システムの設計がその一例であるが、いわゆるMAS業務も、会計に関する専門知識ならびに企業経営全般に関する幅広い識見に裏打ちされた、公認会計士の重要な活動領域になっている。

公認会計士となるための試験は、第1次試験、第2次試験、および第3次試験からなる。これらのうち、第1次試

験は各種の免除規定があり、例えば次の該当者は免除される。①大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者、②4年生大学に2年以上在学し、44単位以上修得した者、③専修学校の専門課程を修了した者、④司法試験ないし不動産鑑定士試験の第1次試験合格者。このため、一般に公認会計士試験といえば、第2次試験を指す。

公認会計士試験は、平成7年に実施された試験から、新しい制度に改められた。新制度による第2次試験は、短答式試験と論文式試験の2段階からなる。短答式試験は、毎年1回5月に、そして論文式試験は、短答式試験の合格者に対して、毎年1回7月下旬に実施される予定である。

試験科目は、短答式試験が①簿記、②財務諸表論、③原価計算、④監査論、⑤商法の5科目、論文式試験は、これら5科目に⑥経営学、経済学、民法の3科目のうちから2科目選択、合わせて7科目で実施される。

短答式試験の合格基準は、論文式試験の受験機会をできる限り広く与えつつ、論文式試験の採点の精度を確保できる程度に公認会計士審査会が決定することになっている。論文式試験の合格基準は、総点数の60%がその原則であるが、1科目につき、その満点の40%に満たない科目のある者は不合格とされる場合がある。

## (2) 税理士の業務と税理士試験

税理士は、他人の求めに応じ、報酬を得て、次のことを業とする者である。

- ・ 租税の申告 ・ 申請などの税務代理 ・ 税務書類の作成
- ・ 税務に関する相談

税理士になるための試験を受ける資格は、税理士法によって学識、資格、職歴、認定ごとに規定されている。このうち大学に関係があると思われるものに、①法律学又は経済学を主たる履修科目とする学部（法学部、経済学部、商学部、経営学部）・学校を卒業した者、②上記以外の学部（文学部、工学部など）・学校を卒業した者で、一般教育科目等において、法律学又は経済学に関する科目を1科目以上履修した者、③大学3年次以上の学生で法律学又は経

済学に関する科目を含め62単位以上を取得した者、④大学3年次以上の学生で法律学又は経済学に関する科目を含め36単位以上を取得した者（ただし、外国語及び保健体育科目を除き、最低24単位の一般教育科目が必要）、がある。

試験科目は下記のとおりである。合否の判定は科目別に行われる。税理士の資格は、簿記論、財務諸表論の会計学2科目と税法3科目、合計5科目の合格者に与えられる。ただし、税法に関しては、所得税法、法人税法の2科目のうち、少なくとも1科目に必ず合格しなければならない。

簿記論	財務諸表論
所得税法	法人税法
相続税法	国税徴収法
住民税又は事業税	固定資産税
消費税法又は酒税法	

### (3) 履修上の注意

公認会計士試験・税理士試験の「簿記」および「簿記論」の内容は、本学では、会計原理、商業簿記、および株式会社社会計論で、また、「財務諸表論」は、財務会計論および株式会社社会計論で講義されている。

## 公務員試験について

公務員は国家機関に勤務する国家公務員と地方自治体に勤務する地方公務員に大別され、その各々について多くの職種（Ⅰ種・Ⅱ種、〇〇職・△△職など）があります。受験希望者は、それぞれの適性・能力を勘案して目標を定め、周到に準備しなければなりません。一般行政職の公務員試験に関して言えば、人文科学・自然科学に関する教養試験の他に、憲法・行政法・民法・政治学などの法律関係科目および経済原論・財政学・経済政策などの経済関係科目の基礎学力と応用能力を試す試験があります。

本学においても、公務員試験の受験希望者が増えています。公務員になろうとする者は、上述の広範な学力に加えて、判断力・指導力・協調性やバランス感覚を含む高度な人格識見が必要とされます。そのような観点からも、日頃の修養を怠らないようにしたいものです。

公務員試験の受験希望者に対し、法律学科目については法学部で開講されている「法職特別課外講座」を、経済学科目については経済学部で開講されている「公務員経済学講座」の受講を勧めます。これらの講座の詳細については、次頁以下の説明を読んでください。

なお、司法試験受験希望者等に対して、本学では、前記「法職特別課外講座」が勉学の支援を行なっています。

## 「法職特別課外講座」について

本講座は、司法試験や公務員試験など、法律科目が受験科目となっている試験の受験に臨む本学在学学生および卒業生（いずれも大学院を含む）を対象に毎年開講されます。科目毎に複数のコースが用意され、いずれも本学法学部教員が指導にあたります。司法試験については、平成8年度からいわゆる合格者枠制度が採られ、現在は従前の倍近い1,000名程度が合格し、近い将来3,000名程度に増加されることになっています。本学出身者では、既に20名近くが法曹（裁判官・検察官・弁護士）として活躍しています。平成11年以降に限れば毎年合格者が出ています（12・13年は各4名）から、以前よりは多少身近な試験になったとも言えるでしょう。諸君の積極的な参加を期待します。

なお、詳細は、法学部発行の『めざせ！スペシャリスト－法職特別課外講座案内（募集要項）』を参照してください。

### 司法試験受験希望者にとっての授業科目履修の心得

- (1) 司法試験第1次試験は、従来、一律に、一般教養科目の既修者に免除するという方法が採られてきました。現在でも基本原則に変化はありませんが、『大学設置基準』の大綱化によって、免除方法（対象者）が従来よりも幅のあるものになったこともあり、司法試験受験を考えている人は、早い時期に、自分の科目履修方法と第1次試験免除の関係について確認しておいてください。
- (2) 司法試験第2次試験は、短答式による筆記試験、論文式による筆記試験および口述試験の3つに分かれますが、その試験科目は次のとおりです。
  - ① 短答式試験科目 憲法、民法、刑法（出題形式 択一式、各科目20問、試験時間3時間30分）
  - ② 論文式試験科目 憲法、民法、商法（保険・海商を除く）、刑法、民事訴訟法（執行停止を除く）、刑事訴訟法の6科目。

- ③ 口 述 試 験 筆記試験に合格した者について、  
憲法、民法、刑法、民事訴訟法、  
刑事訴訟法の5科目について行わ  
れる。

- (3) 以上が司法試験第2次試験科目、試験方法等の概略ですが、司法試験受験者には、試験対策との関連で、法学部において開講される授業科目の履修をそれいかに結びつけるかということが極めて重要となります。大学における授業は決して司法試験と直結するものではなく、より幅の広い角度から、ある場合には司法試験のあり方と直接関係しない分野に及ぶことも少なくありません。しかし、これらの授業内容が自らの受験勉強の過程で大きな役割を果すことは間違いありません。可能な限り幅広く授業を聴講し、積極的に司法試験にチャレンジしてください。
- (4) 「司法試験第一次試験の免除に関する証明書」の発行は、教務課で行っています。申し込みから発行までに10日程度見込んでください。

**【申し込みの際の留意点】**

1. 教務課ロビーで、「司法試験第1次試験免除に関する証明書交付願」に必要事項を記入し、申し込むこと。
2. 免除の要件等は個別のケースでまちまちであるので、必ず、教務課で相談をし、指導を受けること。

## 「公務員経済学講座」について

経済学部では、行政職や経済職の公務員試験や国税専門官試験を受験しようとしている学生諸君のために、経済学や経済原論レベルの課外講座を開設しています。地方上級試験の場合、専門試験50問の内、経済学の出題は、地域によって異なりますが、10問から14問もあります。また、最近の出題傾向では、経済関係科目に計算問題が増え、十分に基礎理論を理解し、計算になれておくことが必要になってきていることから、独学での勉強が難しくなっています。そこで、経済学学習の基礎として「ミクロ経済学コース」と「マクロ経済学コース」を設け、基礎理論を説明の後、問題を解き、解説を加え、質疑応答によって理解を深めるという演習形式で授業を行っています。

具体的な受講条件等は次の通りです。

・受講資格：原則として以下の（１）から（５）の条件のいずれかを満たしている学生

- （１）経済学部の「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を８単位修得している。
- （２）経営学部の「経済原論Ⅰ」「経済原論Ⅱ」を４単位修得している。
- （３）法学部の「経済原論」を４単位修得している。
- （４）外国語学部の「経済研究の基礎（ミクロ経済学）」「経済研究の基礎（マクロ経済学）」（あるいは旧カリキュラムの相当する科目）を４単位修得している。
- （５）人文学部の「経済学概論Ａ」「経済学概論Ｂ」（あるいは旧カリキュラムの相当する科目）を４単位修得している。

- ・講 座：「ミクロ経済学コース（前期）」「マクロ経済学コース（後期）」（各コース12回）
- ・受講料：各コース8,000円
- ・定 員：各コース約40名

「ミクロ経済学コース」と「マクロ経済学コース」に分けてありますが、両コースを受講すれば、経済学全体の基礎知識を

習得できることとなります。

この講座は、全学部の学生を対象に、公務員を希望する学生諸君のみならず、経済学や経済原論で学んだ経済学の知識をさらに充実させたいと思う学生諸君にも開放されています。

公務員試験では、教養試験でも政治・経済の出題が多く、専門試験にも経済事情等が出題されますから、常に新聞を読み、時事問題に興味を持っていることが大切です。また、判断推理や数的処理の出題ウエートも高いので、早い時期から勉強しておくといいでしょう。

開講案内は毎年3月中に**経済学部掲示板**に掲示します。詳細はJ棟6階にある経済学部分室で尋ねてください。

## 卒業論文等提出についての注意事項

[2000年度以降に入学した学生に適用]

卒業論文提出にあたっては、以下の諸事項について十分注意してください。

### 卒業論文題目の提出

論文を提出しようとする学生は、論文題目を決定し、各学科の指示に従い、期日までに届けてください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります。)

### 人文学部生

人文学部生の研究プロジェクト報告書(卒業論文)作成は指導教員の指示に従ってください。また、表紙については、12月中旬に所定の「表紙用添付用紙」を教務課で配布しますので、それを表紙に貼って提出してください。

### 外国語学部生

外国語学部生の論文作成は各学科並びに指導教員の指示に従ってください。

### 経済学部生

経済学部生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) A4判用紙、字数は原則として20,000字以上。ただし必要に応じてグラフや表を含めることも可。
- (2) 外国語で作成する場合は指導教員の指示に従ってください。
- (3) 論文のタイトルページは別表の様式を参考にしてください。
- (4) 大学指定ファイルの表紙に教務課提供の「表紙用添付用紙」を貼り、必要事項を記載してください。

### 経営学部生

経営学部経営学科生の論文作成は下記の要領に従ってください。

- (1) ワープロ・ソフトあるいはワープロ専用機を使用して、A4判用紙に印刷してください。
- (2) 字数は20,000文字以上。
- (3) 欧文でも作成することができますが、作成要領については指導教員の指示に従ってください。

- (4) 指導教員の下承を前提に共同論文を認めます。その際、下記の要領に従ってください。
- (ア) 各自の担当部分を必ず明確にしてください。
  - (イ) 各自の担当部分の字数は20,000字以上。
  - (ウ) 論文の提出の際には、代表者でなく各自が論文全体あるいは担当部分を提出してください。どちらを提出するかについては指導教員の指示に従ってください。
- (5) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。また、扉には別表の様式により必要事項を記載してください。

### 法学部生

法学部生は、下記の要領に従って卒業論文を提出してください。

- (1) 用紙は、ワープロ使用の場合A4判用紙を、やむをえず手書きをする場合は400字詰または800字詰の原稿用紙を用いてください。
- (2) 論文作成枚数は、ワープロ使用の場合20,000字以上、手書きの場合は400字詰50枚以上または800字詰25枚以上になっています。
- (3) 論文には、12月中旬に教務課で配布する「表紙用添付用紙」を受け取り表紙に貼って提出してください。また、扉は別表の様式に従ってください。

### 筆記用具等

筆記用具に関しては162頁の表を参照してください。

### 論文題目の変更

届け出た論文題目を変更する必要がある場合は、各学部の指示に従って、届け出てください。(具体的な期日、届出先、方法などは各学科によって異なります)

### 論文提出期限

論文提出期限は「授業日予定表」を参照すること。提出期限を過ぎたものは一切受理しないので、期日間際になってあわてないように注意して準備してください。

〈別表〉

(縦書の場合)

提出 年 月 日	南山大学〇〇学部 学生番号 〇〇〇〇〇〇 氏名 〇	論文題目	南山大学〇〇学部 〇〇〇〇教授演習 卒業論文
-------------------	---------------------------------	------	------------------------------

(横書の場合)

南山大学〇〇学部 〇〇〇〇教授演習 卒業論文	論文題目	南山大学〇〇学部〇〇学科 学生番号 〇〇〇〇〇〇 氏名 提出年月日
------------------------------	------	--

## 作成筆記用具並びに装丁等について

学部	学 科	筆 記 用 具 等	装丁(ファイル形式等)
人 文	キリスト教	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	人類文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	心理人間	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
	日本文化	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
外 国 語	英 米	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	スペイン・ラテンアメリカ	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	フランス	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	ドイツ	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
	アジア	ワードプロセッサ	学科指定ファイル
経 済	経 済	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル
経 営	経 営	ワードプロセッサ	大学指定ファイル
法	法 律	原則として、ワードプロセッサ。手書きの場合は、黒またはブルーブラックのインク(ボールペンを含む)	大学指定ファイル

# 派遣留学生の帰国後における 授業科目履修に関する手続等取扱要領

## 1. 新規登録について

(1) 春学期科目の新規登録期限は、4月末日とする。

(2) 通年科目の新規登録期限

留学先大学の学期末が本学の新学年度の登録期間を過ぎる場合、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日の7日後まで登録延期が認められるが、5月末日を最終期限とする。

ただし、留学先大学で受験を必要とする試験の最終日が5月末日ないし6月初めの場合は、教務委員会の許可により、その7日後まで新規登録の延期が認められる。許可申請は原則として3月末までに行うこと。所定申請用紙は教務課で交付する。

(3) 集中講義科目の新規登録期限は、春学期授業終了日とする。

(4) 秋学期科目の新規登録期限は、秋学期授業開始1週間後とする。

## 2. 通年科目の継続登録について

(1) 留学前の手続

学年途中で外国に留学する学生が留学前履修中の授業科目を帰国後継続して履修するためには、留学前に教務課において、所定の手続を経、かつ2.(2)に定める期日までに履修継続の登録をしなければならない。ただし、帰国後に同一科目が開講されていないときは、継続して履修することができないことがある。

(2) 継続登録の期限は、秋学期授業開始1週間後とする。

## 3. 演習等について

各学科によって異なる。『派遣留学生の「演習」等の認定方法』に定めるところによる。

なお、演習科目の登録期限・方法については上記定めによ

## 外国人留学生の授業科目履修に関する特例

**第1条** この特例の適用をうける外国人留学生（以下「外国人留学生」という）とは、外国人留学生入学審査によって、本学学部学生として入学を許可された者をいう。

**第2条** 外国人留学生は、授業科目履修に関して、「南山大学授業科目履修規程」ならびに関連する諸規程の他にこの特例に従わなければならない。

**第3条** 外国人留学生は、「日本語Ⅰ」3単位、「日本語Ⅱ」2単位、「日本語Ⅲ」3単位を履修しなければならない。ただし、これと同等以上の日本語能力をもつと学部・学科が判断した者については、その履修を免除することがある。

**第4条** 外国人留学生は、前条に定める「日本語Ⅰ」3単位、「日本語Ⅱ」2単位、「日本語Ⅲ」3単位のほか、共通教育科目として開講されている外国語科目のうち、いずれか4単位以上を履修することを原則とする。ただし、その履修に関しては学部・学科の指示に従うものとする。

**第5条** 外国人留学生については、共通教育科目、学部共通科目及び学科科目について、学部・学科での修得すべき単位数のうち12単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」、「日本語Ⅲ」及び「総合日本語A」、「総合日本語B」についての単位で代えることができる。ただし、その履修に関しては学部・学科の指示に従うものとする。

**第6条** 各学部・学科が教育上必要と判断した場合は、帰国子女学生にこの特例を準用することができる。

**第7条** 数理情報学部在籍する外国人留学生については、別に定める細則に従うものとする。

### 附 則

この特例は、昭和51年4月1日から施行する。

### 附 則

この特例の改正は、昭和53年9月1日から施行する。

### 附 則

この特例の改正は、昭和58年4月1日から施行する。

### 附 則

この特例の改正は、昭和61年4月1日から施行する。

**附 則**

この特例の改正は、昭和63年4月1日から施行する。

**附 則**

この特例の改正は、平成4年4月1日から施行する。

**附 則**

この特例の改正は、平成7年4月1日から施行する。

**附 則**

この特例の改正は、平成12年4月1日から施行する。

**附 則**

この特例の改正は、平成14年4月1日から施行する。

## 外国語検定試験による単位認定制度について

外国語の能力を判定するために実施されている各種外国語検定試験で一定の基準に達し、かつ本学外国語担当教員による当該外国語面接試験に合格した学生に対して、以下の単位が認定される。

①共通教育科目としての当該外国語（1年次）4単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

②共通教育科目としての当該外国語（2年次）4単位が認定される場合

（2年次の開始時点までに、認定基準を満たしていること）

③共通教育科目としての当該外国語（1年次および2年次）8単位が認定される場合

（本学への入学時まで、認定基準を満たしていること）

外国語名称	対象となる外国語検定試験		認定基準	
			①の場合	②と③の場合
英語	TOEFL *1	Paper-based total	530点～579点	580点以上
		Computer-based total	197点～236点	237点以上
	TOEIC *2		670点～819点	820点以上
	実用英語技能検定		準1級	1級
	ケンブリッジ大学英語検定試験		Level 3 (FCE) *3	Level 4 (CAE) 以上 *4
フランス語	実用フランス語技能検定 (DAPF)		3級	2級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定		3級	2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定		4級	3級以上
中国語	中国語検定		準2級	2級以上
	漢語水平考試 (HSK)		6級、7級	8級以上
	中国語コミュニケーション能力検定 (TEEC)		Cレベル (550点～669点)	Cレベル以上 (670点以上)

\*1 TOEFL = Test of English as a Foreign Language  
\*2 TOEIC = Test of English for International Communication

\*3 FCE = First Certificate in English  
\*4 CAE = Certificate in Advanced English

ただし、共通教育科目としての必修外国語の8単位が1年次に配当されている学科は、以下の通り読み替える。

（1年次）4単位 → （1年次春学期）4単位

2年次の開始時点 → 1年次秋学期の開始時点

(2年次) 4単位 → (1年次秋学期) 4単位

(1年次および2年次) 8単位 → (1年次春学期および秋学期) 8単位

認定を希望する学生は4月8日まで(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)に、申請書に当該外国語検定試験の得点(合格)証明書コピーを添えて、教務課(名古屋キャンパス)または学務係(瀬戸キャンパス)に提出すること。申請書は各窓口で配布する。

ただし、上記読み替えにより、1年次秋学期に単位認定を申請する場合(瀬戸キャンパス9月入学者を含む)は、9月26日(当日が事務休業日の場合は、次の事務取扱日)までに申請すること。なお、学年または学期の途中、あるいは学年または学期を遡っての単位認定は行わない。

## 愛知学長懇話会・単位互換事業による聴講制度について

愛知学長懇話会・単位互換事業は、愛知県内の他の大学が開放する特色ある授業科目を自由に履修し、単位を修得することができる制度です。この事業には南山大学を含む45大学が参加しており、修得した単位は、南山大学の単位として認定されます。

### 1. 出願について

資格：1年次秋学期より可能。春・秋各学期に出願が可能。

可能単位数：年間8単位まで。なお、この単位数は各学部が定める学期あたりの登録単位数には含まれない。

出願を希望する学生は、参加大学の開放科目や履修条件等を記載した募集要項と出願票を教務課で受け取り、必要事項を記入し教務課へ提出すること。出願期間等は別途教務課HP等に掲示する。

### 2. 受講について

受講が決定したら教務課より本人に通知する。正式な決定以前に授業が開始される場合には仮受講が認められる。なお、応募者多数の場合は相手先大学による選考が行われる場合がある。

休講情報等の連絡事項は教務課HPに掲示する。

### 3. 試験について

相手先大学の試験と南山大学での試験日程が重複した場合は、相手先大学の試験を優先すること。その際、相手先大学から「単位互換科目受験証明書」の交付を必ず受けること。「単位互換科目受験証明書」の提出により、南山大学の追試験受験が可能となる（成績の1割減点なし、手数料無料）。

### 4. 単位認定について

成績は教務課より本人に通知する。単位認定を希望する場合は、単位認定申請書を教務課に提出すること。申請書は教務課にて配布する。

その他、詳細については教務課に問い合わせること。

※瀬戸キャンパスの学生は、教務課を学務係と読み替える。

MEMO

---

---

2003年 3月10日 印刷

2003年 4月1日 発行

名古屋市昭和区山里町18 (〒466-8673)

編集発行者

南 山 大 学

電話 (052) 832-3111(代)

名古屋市西区野南町19 (〒452-8571)

印刷所

凸版印刷株式会社中部事業部

電話 (052) 503-5111(代)